

青森県多文化共生推進プランの策定に向けた実態調査（結果）

1 日本人住民向け調査

調査対象	県内の自治会・町内会の代表（町内会長等）、大学生ほか
調査方法	日本語によるアンケート方式（アンケート用紙、Google Form）
回答件数	706 件（1,000 件）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「多文化共生」の認知度 ・外国人住民の増加に向けた県の取組 ・青森県に暮らす外国人住民に対する印象 ・外国人住民との付き合い ・文化の違いなどに起因するトラブル ・日本人住民に求められる行動、外国人住民に望む行動 など

2 外国人住民向け調査

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ①技能実習生 (600 件) ②留学生、日本語学校・日本語教室の生徒 (200 件) ③外国籍児童・生徒の保護者 (200 件) ④JETプログラム参加者（C I R、A L T） (170 件) ⑤国際交流ラウンジ来訪者等 (30 件)
調査方法	アンケート方式（アンケート用紙、Google Form）
言語	やさしい日本語、ベトナム語、中国語（簡体字・繁体字）、タガログ語、韓国語、英語、インドネシア語
回答件数	511 件（1,200 件）
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県の暮らしやすい点、暮らしにくい点 ・青森県に暮らす日本人住民に対する印象 ・日本人住民との付き合い ・文化の違いなどに起因するトラブル ・日本人住民に望む行動、外国人住民に求められる行動 ・青森県の生活に必要な情報と入手方法 ・青森県で暮らしていく中での不安や悩み ・自然災害に対する準備・行動 など

3 事業者向け調査

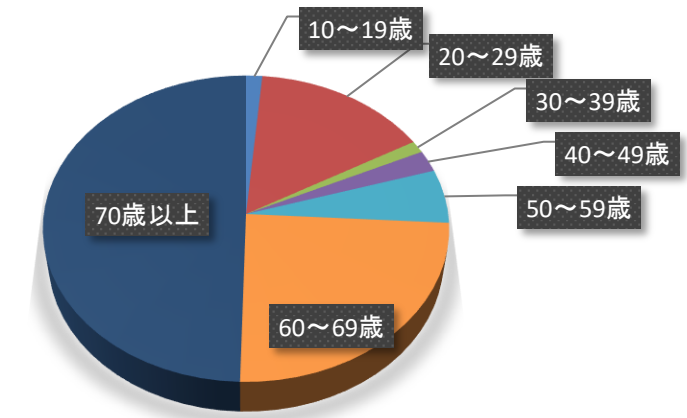
調査対象	外国人労働者を 10 人以上雇用する県内事業所
調査方法	戸別訪問によるヒアリング方式（一部メール回答）
回答件数	20 件（戸別訪問 19 件、メール回答 1 件） (20 件)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用状況 ・雇用効果、雇用予定 ・外国人労働者の日本語レベル ・事業者が抱えている課題 ・多文化共生の実現に向けて必要な取組 など

※括弧内の件数は想定した調査件数

青森県多文化共生推進プランの策定に向けた実態調査 集計結果
【日本人住民向け調査】

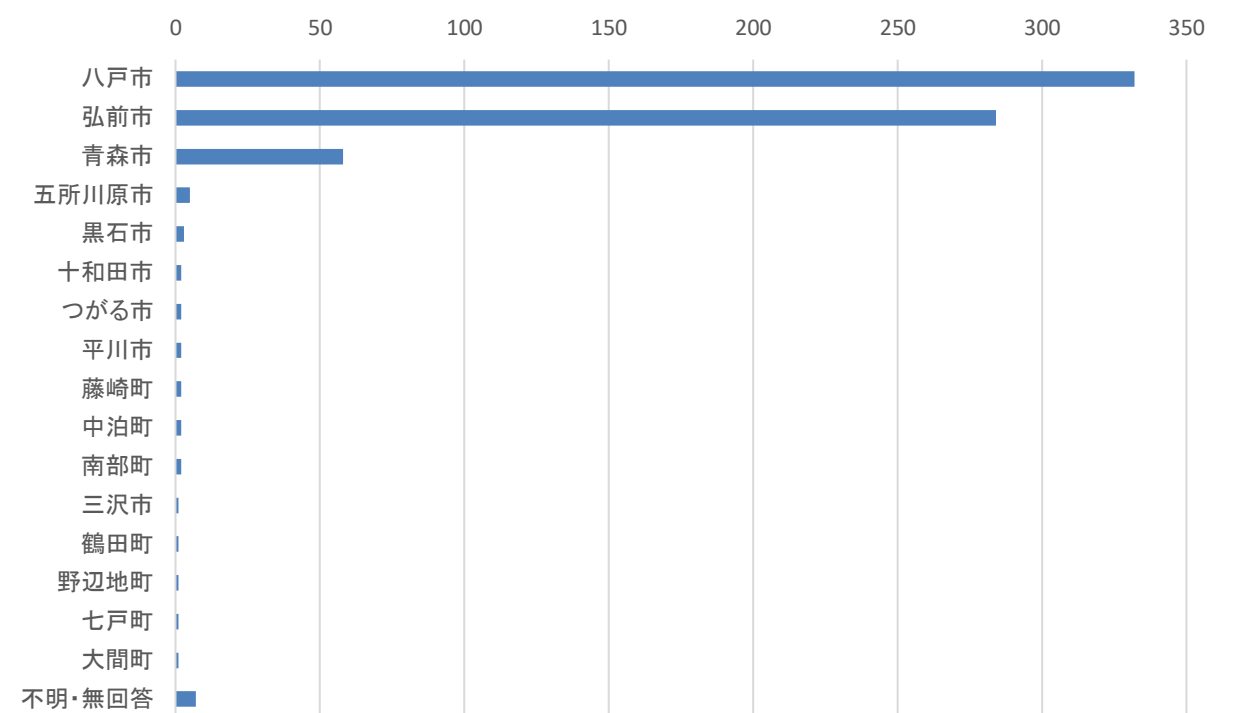
問1 あなたの年齢を教えてください。	件数	割合
① 10歳～19歳	10	1.4%
② 20歳～29歳	108	15.3%
③ 30歳～39歳	9	1.3%
④ 40歳～49歳	16	2.3%
⑤ 50歳～59歳	40	5.7%
⑥ 60歳～69歳	173	24.5%
⑦ 70歳以上（70歳～）	350	49.6%
回答者数	706	100.0%

問1 あなたの年齢を教えてください。



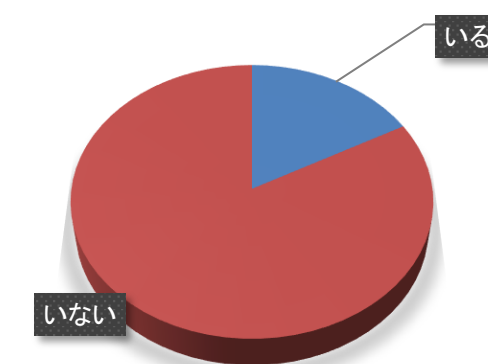
問2 あなたが住んでいる地域を教えてください。	件数	割合
八戸市	332	47.0%
弘前市	284	40.2%
青森市	58	8.2%
五所川原市	5	0.7%
黒石市	3	0.4%
十和田市	2	0.3%
つがる市	2	0.3%
平川市	2	0.3%
藤崎町	2	0.3%
中泊町	2	0.3%
南部町	2	0.3%
三沢市	1	0.1%
鶴田町	1	0.1%
野辺地町	1	0.1%
七戸町	1	0.1%
大間町	1	0.1%
不明・無回答	7	1.0%
回答者数	706	100.0%

問2 あなたが住んでいる地域を教えてください。



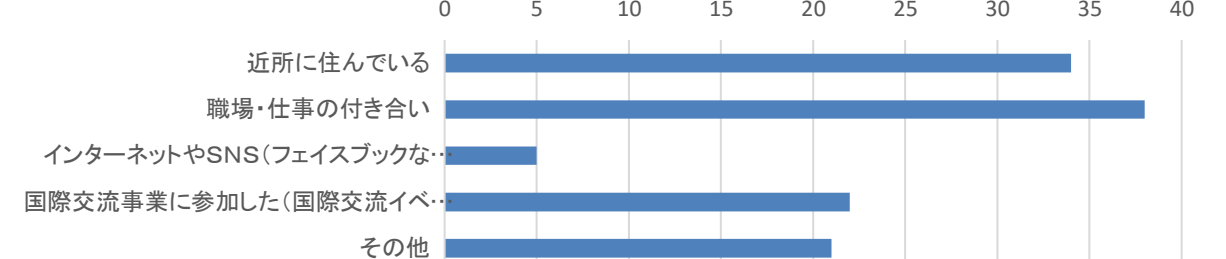
問3 あなたには青森県に暮らす外国人の友人・知人がいますか。	件数	割合
① いる → 問4へ	120	17.0%
② いない → 問5へ	586	83.0%
回答者数	706	100.0%

問3 あなたには青森県に暮らす外国人の友人・知人がいますか。



問4 青森県に暮らす外国人の友人・知人ができたきっかけは何ですか。（複数回答可）	件数	割合
① 近所に住んでいる	34	28.3%
② 職場・仕事の付き合い	38	31.7%
③ インターネットやSNS（フェイスブックなど）を通じて知り合った	5	4.2%
④ 国際交流事業に参加した（国際交流イベント、海外派遣など）	22	18.3%
⑤ その他	21	17.5%
回答者数	120	

問4 青森県に暮らす友人・知人ができたきっかけは何ですか。

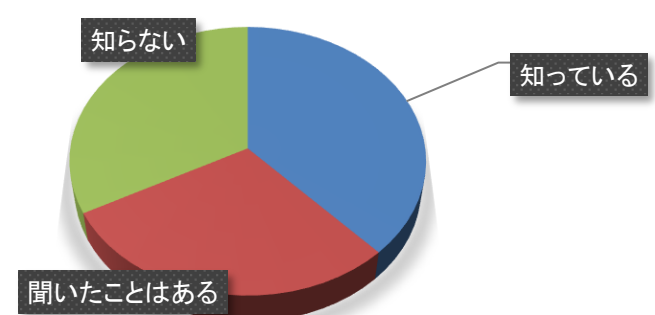


(⑤その他)

- ・ 学校・英会話教室など
- ・ 自分が旅行等で外国に行ったとき
- ・ 外国人が旅行等で日本に来たとき
- ・ スポーツ（スキー、バスケットボール、ダンスなど）
- ・ 友人・家族等の紹介
- ・ 町内会
- ・ 日本語講座
- ・ 国政調査

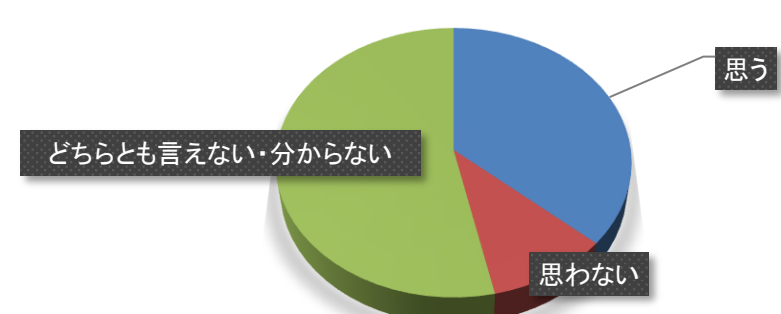
問5 あなたは「多文化共生」という言葉を知っていますか。	件数	割合
① 言葉の意味も含めて知っている	268	38.0%
② 言葉の意味は知らないが、聞いたことはある	207	29.3%
③ 知らない	231	32.7%
回答者数	706	100.0%

問5 あなたは「多文化共生」という言葉を知っていますか。



問6 あなたは、青森県で生活する外国人を増やすための取組を、県が積極的に行ったほうがよいと思いますか。	件数	割合
① 思う	257	36.4%
② 思わない	72	10.2%
③ どちらとも言えない・分からない	377	53.4%
回答者数	706	100.0%

問6 青森県で生活する外国人を増やす取組を県が行ったほうがよいか。



問7	問6について、「県が積極的に行ったほうがよい」と思う取組があったら、次の中から選んでください。(複数回答可)	件数	割合
①	日本人が外国人の言葉や文化などに触れる機会の創出	212	47.1%
②	外国人労働者の受入促進	201	44.7%
③	外国人の定住促進	124	27.6%
④	外国人に向けた日本や地域固有の文化・伝統に触れる機会の創出	219	48.7%
⑤	特にない・分からない	79	17.6%
⑥	その他	8	1.8%
		回答者数	450

(⑥その他)

- ・日本語指導、方言指導
- ・青森に住む日本人の固定観念を払拭する
- ・外国人のための物価高騰対策
- ・防災訓練、バスの乗り方、ゴミの分別、交通安全ルールについて伝える
- ・外国人の子供でも積極的に日本の学校に入学させる

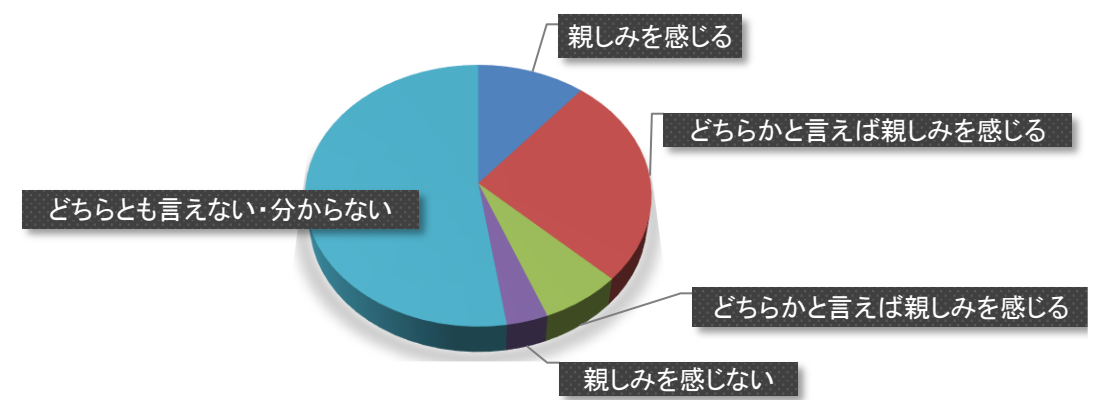
問8	問6について、「県が積極的に行わなくてもよい」と思う理由があったら、次の中から選んでください。(複数回答可)	件数	割合
①	現状の取組で十分だから	31	13.4%
②	他に優先したほうがよい取組があるから	73	31.6%
③	どのくらいの費用がかかるのか分からないから	37	16.0%
④	なぜ外国人を増やさなければならないのか、理由や課題が分からないから	123	53.2%
⑤	その他	20	8.7%
		回答者数	231

(⑤その他)

- ・治安悪化の不安
- ・行政が関わる問題ではない
- ・市町村単位にまかせた方がいい
- ・雇用が足りている
- ・日本人の雇用が必要
- ・現状がよくわからない

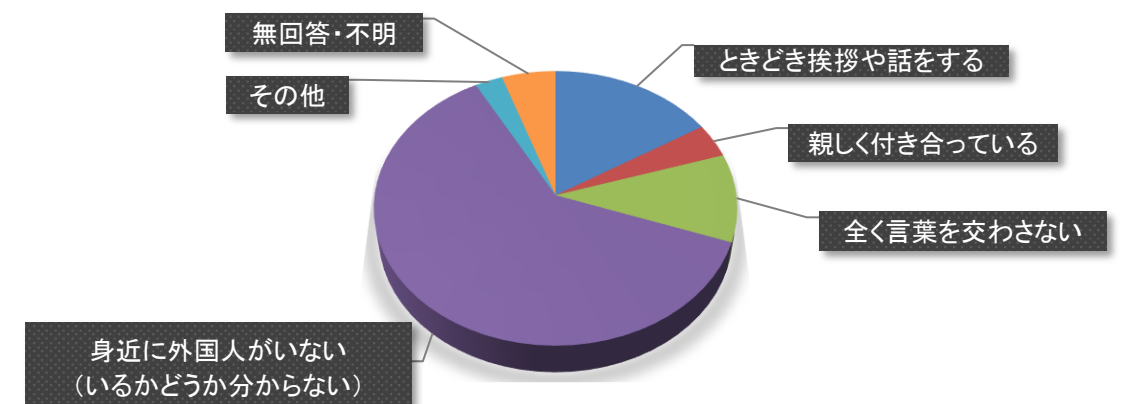
問9	あなたは、青森県に暮らす外国人に対してどのような印象を持っていますか。	件数	割合
①	親しみを感ずる	78	11.0%
②	どちらかと言えば親しみを感ずる	184	26.1%
③	どちらかと言えば親しみを感ずらない	49	6.9%
④	親しみを感ずらない	25	3.5%
⑤	どちらとも言えない・分からない	370	52.4%
		回答者数	706

問9 青森県に暮らす外国人に対してどのような印象を持っていますか。



問10	あなたは、現在、身近な外国人とどのような付き合いをしていますか。	件数	割合	
①	ときどき挨拶や話をする	114	16.1%	
②	親しく付き合っている	28	4.0%	
③	全く言葉を交わさない	73	10.3%	
④	身近に外国人がいない (いるかどうか分からない)	435	61.6%	
⑤	その他	19	2.7%	
		無回答・不明	37	5.2%
		回答者数	706	

問10 現在、身近な外国人とどのような付き合いをしていますか。

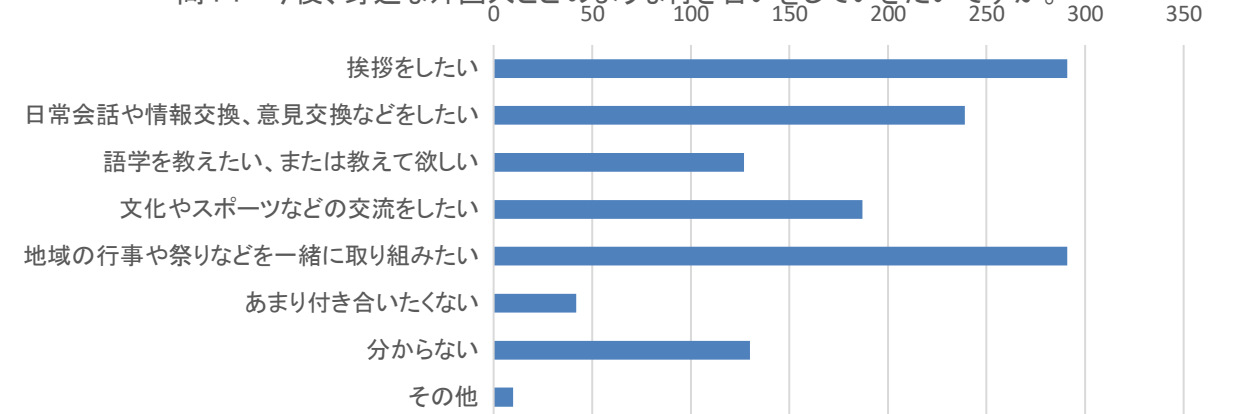


(⑤その他)

- ・店のお客様として来店する
- ・農業指導している
- ・外国人が来る会議、集会の機会がない
- ・ねぶたの参加
- ・スポーツクラブで型どおりの挨拶程度

問11	あなたは、今後、身近な外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(複数回答可)	件数	割合
①	挨拶をしたい	291	41.2%
②	日常会話や情報交換、意見交換などをしたい	239	33.9%
③	語学を教えたい、または教えて欲しい	127	18.0%
④	文化やスポーツなどの交流をしたい	187	26.5%
⑤	地域の行事や祭りなどを一緒に取り組みたい	291	41.2%
⑥	あまり付き合いたくない	42	5.9%
⑦	分からない	130	18.4%
⑧	その他	10	1.4%
		回答者数	706

問11 今後、身近な外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。

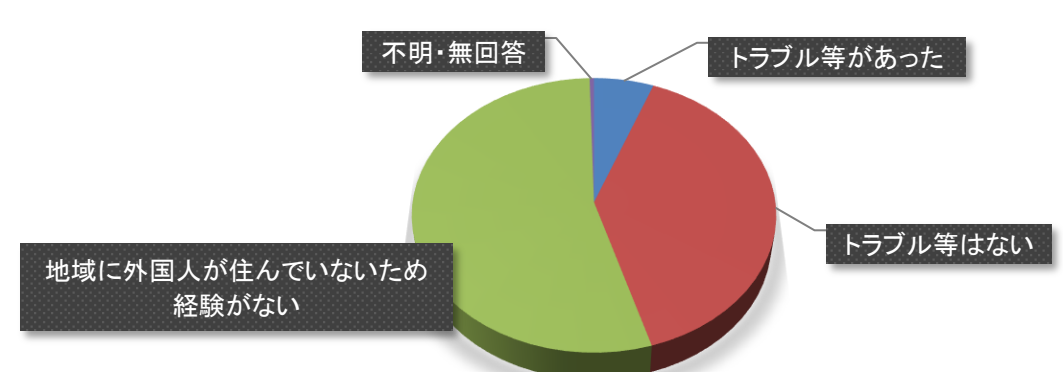


(⑧その他)

- ・日本の知人、友人と同様にしたい、自然体で
- ・相手が望むなら対応する。困っている場合は相談にのる
- ・お互いの趣味での交流が出来たらいい
- ・個人としてはいいが、地域全体として取り組むための理解が得られにくいと思う

問12	あなたは、青森県に暮らす外国人の行動について気になったり、文化の違いなどに起因するトラブルになったことはありますか。	件数	割合	
①	文化の違いなどに起因するトラブル等があった → 問13へ	41	5.8%	
②	文化の違いなどに起因するトラブル等はない → 問14へ	279	39.5%	
③	地域に外国人が住んでいないため経験がない → 問14へ	383	54.2%	
		不明・無回答	3	0.4%
		計	706	

問12 青森県に暮らす外国人の行動や文化の違いによるトラブル



問13	問12について、トラブル等がどのような内容だったか、差し支えない範囲で教えてください。(例：冬の雪かきの時、雪の捨て方が原因でトラブルになった など)
(内容：)	

(内容)

- ・ゴミ捨てのルール
- ・文化・風習・宗教に関すること
- ・地域や集合住宅等の共有スペースの使い方、駐車・駐輪の仕方
- ・住居の騒音・物音など
- ・考え方や言動(自己主張、時間にルーズ、上半身裸で外にいた、挨拶を返さない、男女交際 など)
- ・交通ルール
- ・お店などでのマナー(集団で大きな声で話している)
- ・自転車が盗まれて、知人が周辺の学校の留学生が乗っているのを見たと言っていたが、実際は日本人の若者に盗まれていて、外国人だから怪しいという観点で話す人がいることに悲しさを感じた。

問 1 4	あなたは、青森県に暮らす外国人と互いに理解して生活するため、 青森県に暮らす日本人 にどのような行動が求められると思いますか。（複数回答可）	件数	割合
①	日頃から挨拶したり、声をかけるなどお互いに顔が見える関係をつくる	405	57.4%
②	地域の行事や祭りなどに外国人が参加しやすい環境をつくる	324	45.9%
③	地域のルールなどを外国人に分かりやすく情報提供する	337	47.7%
④	外国人の生活習慣や文化などについて理解を深める	262	37.1%
⑤	外国人に対する先入観や固定観念にとらわれないようにする	330	46.7%
⑥	言葉の壁を取り払う努力をする（外国人に日本語を教える、日本人が外国語を学ぶ等）	213	30.2%
⑦	何をしたらよいか分からない	60	8.5%
⑧	特に何かをする必要はない	39	5.5%
⑨	その他	16	2.3%
	回答者数	706	

(⑨その他)

- ・ 特別扱いする必要はない、自然体で、過剰な気遣いはしない など
- ・ 特に日本語学習環境と地元町内会員との交流
- ・ 緊急時対応として相互互助のコミュニティの確立
- ・ 外国人が来たら雇い主は町内にあいさつした方がよい
- ・ 外国人がいることが当たり前だと思って欲しい
- ・ 外国人の不法滞在の対策（調査など）
- ・ 多文化共生は結局できないと思います

問 1 5	あなたは、青森県に暮らす外国人と互いに理解して生活するため、 青森県に暮らす外国人 に望むことはありますか。（複数回答可）	件数	割合
①	日本人の生活習慣や文化などについて理解を深める	492	69.7%
②	日本語の習得に興味を持つ	245	34.7%
③	近所の人と顔見知りになる	292	41.4%
④	地域の行事や祭りなどに積極的に参加する	312	44.2%
⑤	外国の言葉や文化を日本人に教える	134	19.0%
⑥	何をしたいか分からない	43	6.1%
⑦	特に何かを望むことはない	62	8.8%
⑧	その他	5	0.7%
	回答者数	706	

(⑧その他)

- ・ 行政が教育に支援をするべき、受け入れ側が努力するべき

問 1 6	このアンケートや多文化共生全般に関して意見・考えなどありましたら自由に記載してください。
	(自由回答)

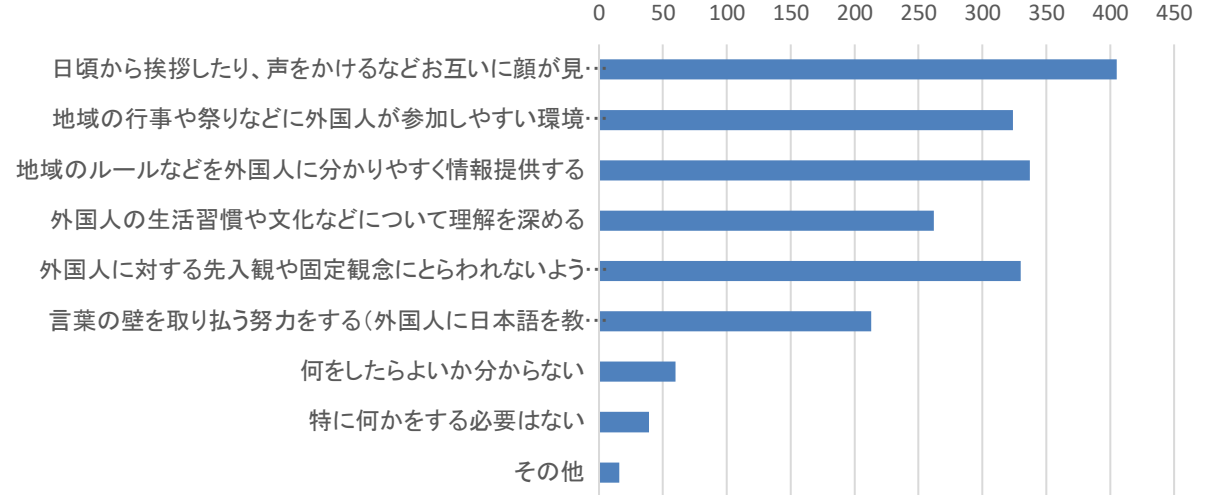
(多文化共生の推進に前向きな意見)

- ・ 外国人を労働力としてだけ考えるのではなく、地域社会の一員として考えることが大事。
- ・ 外国人に対する偏見は抜けないが、どこで出生しようが人はみな同じという考え方になっていかなければと思う。
- ・ 青森県は地域性、人間性で外国人に選ばれる県になるのではないか。同じ人間として一緒に暮らしていく気持ちが必要。
- ・ 若い世代の方々には大いに交流して頂き、私達も縁あればそんな交流も体験出来たら良い。
- ・ 外国人とは仲良くしたい。外国人と会話できる場があれば少しずつ、理解が深まる気がする。
- ・ 県人口の減少、高齢化で労働力不足は一層進むだろう。定住化促進が不可欠。
- ・ 意見や価値観を話し合ったり特性を認め合うことは大切で幸せなことなので少しずつ壁が取り払われていくと良い。
- ・ 日本にきている外国人はいろいろな事情を持って来ていると思う。我々日本人も一人の日本人だと思っつき合いたい。
- ・ 人口減少、労働力不足等、青森県が抱える現状を外国人で補う事ができるため多文化共生は今後さらに必要になる。
- ・ 人口減少の日本にとって外国人の受け入れは必然と思う。
- ・ どこから手をつければいいのか分からないが、今後は外国の方を含めた地域づくりが必要だと思う。
- ・ 今後、外国人との関わりは避けられず積極的に受け入れるべき。後は次世代が決断すればよい。
- ・ 人口減少が続く中、外国人の定住促進は必要。スムーズに進むよう頑張らしてほしい。
- ・ 外国人が青森に住むには何らかの理由があるわけで、その点でサポートしたい。また彼らから青森の良さを学びたい。
- ・ 少子高齢化で日本の人口が減少しており、外国からの労働力が必要。日本は将来、多民族国家になると思うがそれもよい。
- ・ 他の事例も参考にして青森県ならではの取組に挑戦してほしい。今後、外国人に選ばれる地域になれるかは重要。
- ・ 日本の人口減少を考えると共生社会は必須である。
- ・ 外国人と生活することは負担を伴うが得ることも多いはず。国や自治体もしっかりした政策を打ち出して取り組む課題だと思う。
- ・ 異文化の外国人と共存するのは大変だが、お互い人間なのだから胸襟を開いて同地域で暮らしていけると思う。
- ・ 多文化になるほど対象範囲が広く多様化する。簡単ではないと感じるが、必要な取組であると思う。
- ・ 身近に外国人がいらないため具体的な接触方法はわからないが多文化共生については今後理解に努めたい。
- ・ 外国人も地球の人々である。同じ地球に住む人と考える。
- ・ 外国人と接したことはないが、今後の労働力については外国人の助けが必要と思います。
- ・ 今後の事を考えれば積極的な交友を考えるべきかと思う。
- ・ 永住外国人や短期の方も含めて日本の好印象をもってもらうために交流が欠かせないと思います。
- ・ 若年者の減少や労働力不足等と関連して今後は外国人と様々な面で共生していかなければならないと思う。
- ・ 少子高齢化社会が進むので労働者確保のため外国人の受け入れは必要。但し乗っ取られないようルール化も必要。
- ・ 現代はグローバルになっている。1国では生存できない。地球環境で共生していく必要があると思う。
- ・ 外国人が増えてくるのは必然。特に意識せず日常の挨拶にはじまり普通に日常の交流をしていきたい。
- ・ 外国人を積極的に受け入れたいと思います。
- ・ 青森県人口減少に歯止めがかからないので外国人の受け入れは、やむを得ないと思う。
- ・ 人口減少なので積極的に外国人を移住(高齢者のみを除く)させるべき。
- ・ 外国人の受け入れは日本の人口を維持するために必要。
- ・ 青森県はもっと多文化共生を推進してほしい。

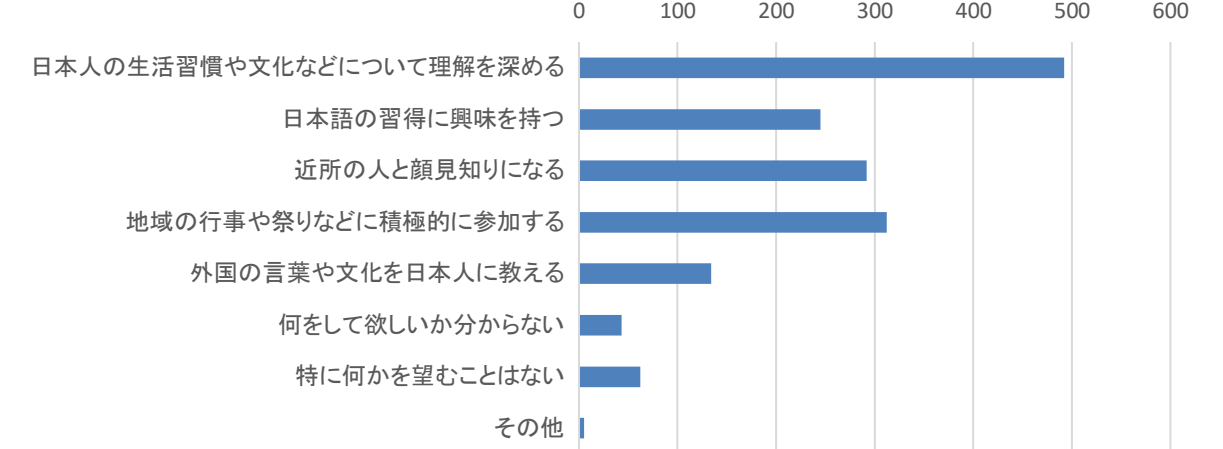
(多文化共生の推進に慎重な意見)

- ・ 外国人より日本人同士の都市と地域の人口格差の解消に力を入れるべき。雇用目的のみ外国人流入には賛成できない。
- ・ 何かトラブルが起きた時の県の対応、どの程度までしてくれるのか、外国人の事件も心配。
- ・ 犯罪、事件を起こさないでほしい。一部の外国人だけが犯罪等を起こしているの付合い出来ない気持ちがある。
- ・ 慎重な議論が必要。異なる文化背景を持つ人々が結束を保つのは困難。安全保障上の懸念もある。
- ・ 日本には日本の文化等があり多文化共生で崩壊することを懸念。選挙権の問題もある。今からきちんと対策を講じるべき。
- ・ 多文化共生という移民政策には反対。治安悪化や日本の習慣・文化への影響について懸念。
- ・ 共生の相互目的を理解した上での付き合いが必要など格好良すぎず。国際交流は注意すべき。
- ・ 世界の平和は願うが、弱肉強食は不偏であり外国人の受け入れは困難。
- ・ 外国人と日本人がどううまく交流するのは困難。

問 14 青森県に暮らす日本人に求められる行動



問 15 青森県に暮らす外国人に望むこと



(多文化共生の取組内容に関する意見)

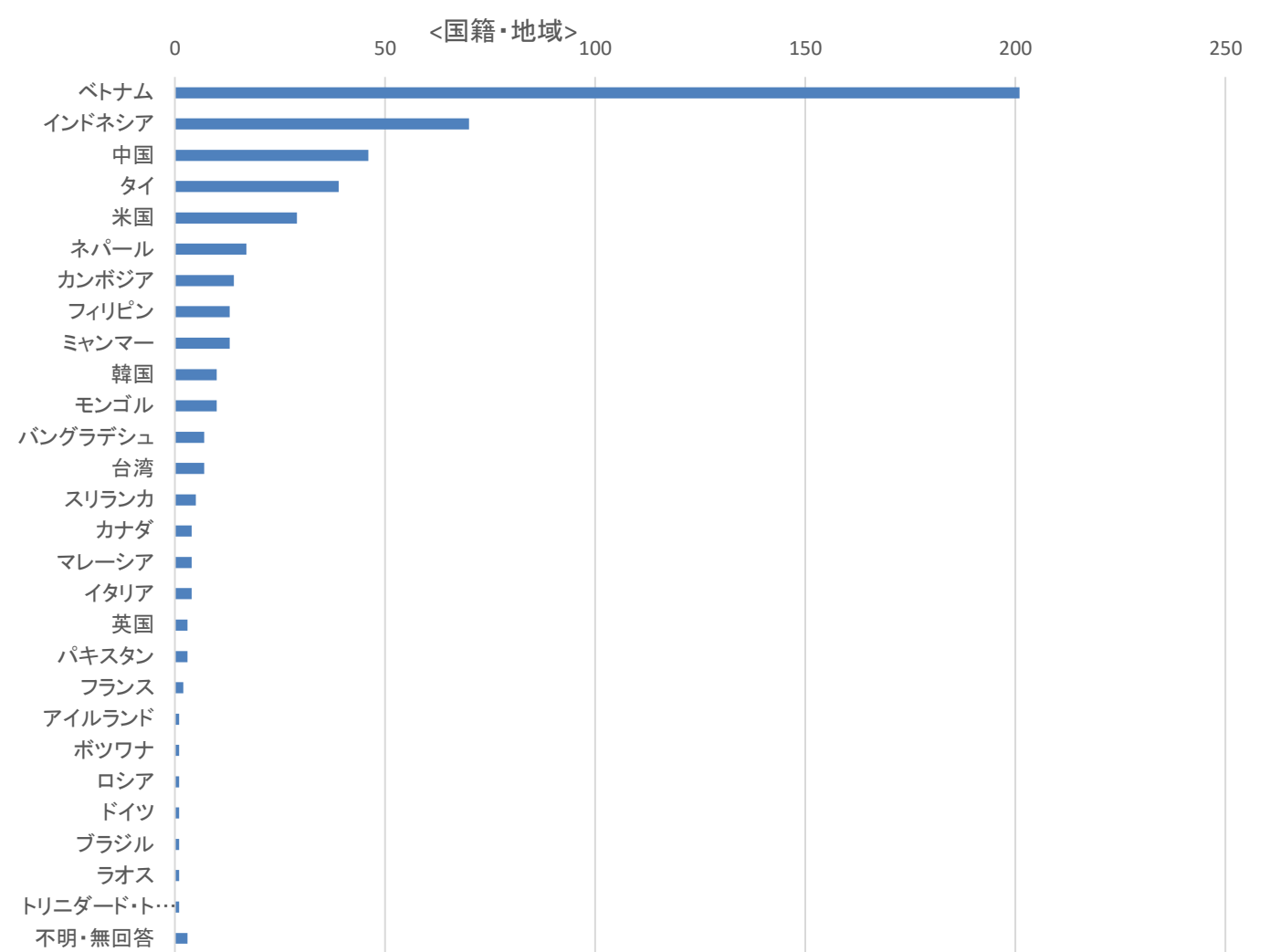
- ・ 県主催でやさしい日本語を学ぶ機会や留学生と交流を楽しめるような企画が必要。
- ・ 料理教室などの触れ合う時間を作る。
- ・ 大きな行事より身近な接触がいいと思います。
- ・ 日本人、外国人にこだわらず普通に人として接する事です。
- ・ 多文化共生においては物事と長く向き合う「心の柔軟性」を育て、根気強く向き合っていくことが大事。
- ・ 肌の色は違うが同じ人間であるという事を頭に入れ、文化、生活の違いは、理解しようとする努力が大事である。
- ・ 県民に対して多文化共生について意味を含めて浸透を促す必要があると思います。
- ・ 個人だと地域の慣習を守ろうとするがコミュニティを形成すると自分達の慣習で行動しがち。地域住人との交流が大事。
- ・ 日本が求めるのは労働力不足の解消。外国人が来るのは金を得る為。地域の住民として、特別視する必要はない。
- ・ いろいろな国があり、言葉や文化、主張が違うが、人間性が大事。
- ・ 今後、外国人労働者が増えて生活習慣の違い等によるトラブルも増えるが、挨拶や行事参加など必要。
- ・ 言葉が壁になるので、遊び等を通じて共に学びあう。
- ・ 日本の習慣の文化を知ってもらう一方で、私たちが外国の習慣について理解を深める必要がある。
- ・ 地域の行事に外国人を参加させるべき。仕事で疲れていると思うが、楽しむ事で仲良くなれる。お祭りはきっかけになる。
- ・ 職場で外国人に日本文化・習慣等を教育すべき。日本人も親近感をもって外国人に接する事が必要。
- ・ 日本の文化に興味をもつ外国人は多いが、外国の文化に興味をもつ日本人は少ない。交流機会が少ないことなどが原因。
- ・ 外国人と交流できる機会を何らかで設定してほしい。
- ・ 大学等の教育関係やALTをより活用すべき。理念の構築よりアクションを。
- ・ 何を求めているのプラン作成なのかわからない。言葉、文化の違いを理解し仲良く付き合う機会を行政がつくってほしい。
- ・ 若い外国人労働者が見かけるが事業主や会社は彼らが日本の文化や言葉を理解する環境をつくるよう努力すべき。
- ・ 住む場所、仕事、子供の教育が何よりも大事だと思う。
- ・ 色々と機会の場をつくってほしい。積極的に外国人の方と話をしたい。
- ・ 自転車利用のヘルメット着用ルールを知らせる。ゴミ出しルールを守ってほしい。

(その他の意見)

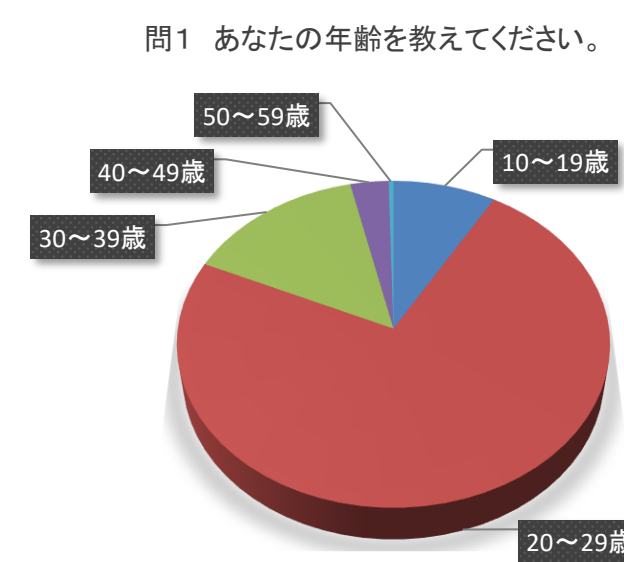
- ・ 地域に外国人がいると思うが、どこに住んでいるのか、どこの国の人なのか、どんな人なのか知る方法、機会がない。
- ・ 外国人が町内のアパートにまとまって住んでいる様だ。朝夕通勤時にしか見ない。どの様に接してよいか分からない。
- ・ 自分の生活範囲に外国人がいないので実感がわかない。もし居たとしても言葉の問題で積極的ににはなれないと思う。
- ・ 人口減で外国人に依存する時代が来ていることは理解しているが、言葉が通じない、何を考えているか等の不安がある。
- ・ 近所に外国人がいらないから何をしたらよいか。特に何かをするということも考えることもないので、あまり気にしない。
- ・ どこに外国人がいるのかかわからないので連合町内会の行事に来て参加し言葉をかわし、わかり合いたいと思う。
- ・ 外国人と意識しないで付き合いたい。
- ・ 就労で数年しかいないので地域で知られていないのではと思う。日本への関わりが就労だけなのかどうか分からない。
- ・ 外国人の技能実習生の力を借りているが労働力不足をカバー出来るかは疑問。国は根本的な人口減少対策を講じるべき。
- ・ 「郷に入れば郷に従え」で行動してほしい。外国人が地域の人にどう接して欲しいかを事前に伝えてくれれば問題は生じない。
- ・ 郷に入れば郷に従え。思考を理解してもらうことが大事だと思う。
- ・ もし、自分が外国で暮らした場合、どうしてほしいかを考えて行動している。
- ・ 外国人を見かけないので出会ったらどう行動していいかわからない。外国人が日本語を話せるなら交流を深めたい。
- ・ 外国人労働者を雇っている雇主から、町内へ連絡なし。
- ・ まわりとの接触をさせているように感じる。大家さんからせめて仕事やどこの国の人か挨拶を要望したい。
- ・ 外国人ということにこだわらず国内の遠くから移住してきた人と同様に対応したい。
- ・ 私の知っている外国人は一生懸命に日本人に溶けこもうとしている。日本人が壁を高くしている感じがする。
- ・ 外国人はこわいというイメージがあるが逆に外国人もそう思っている？何かしら交流のきっかけが必要。
- ・ トラブルが発生した場合の対応を教えてください。
- ・ 外国人も大事ですがまずは日本人、県民が最優先をお願いします。
- ・ 多文化共生は人口減にはプラスだが日本の歴史文化は継承すべき。単に労働力の補填なら好ましくない。
- ・ 多文化共生という言葉ははじめて聞いた。総務省が20年近く前に出している報告書ですが一般人にはわからないと思う。
- ・ 青森県の人口が減っている。外国人に住んでもらえるような企業の受け入れ体制をとってもらう事。

青森県多文化共生推進プランの策定に向けた実態調査 集計結果
【外国人住民向け調査】

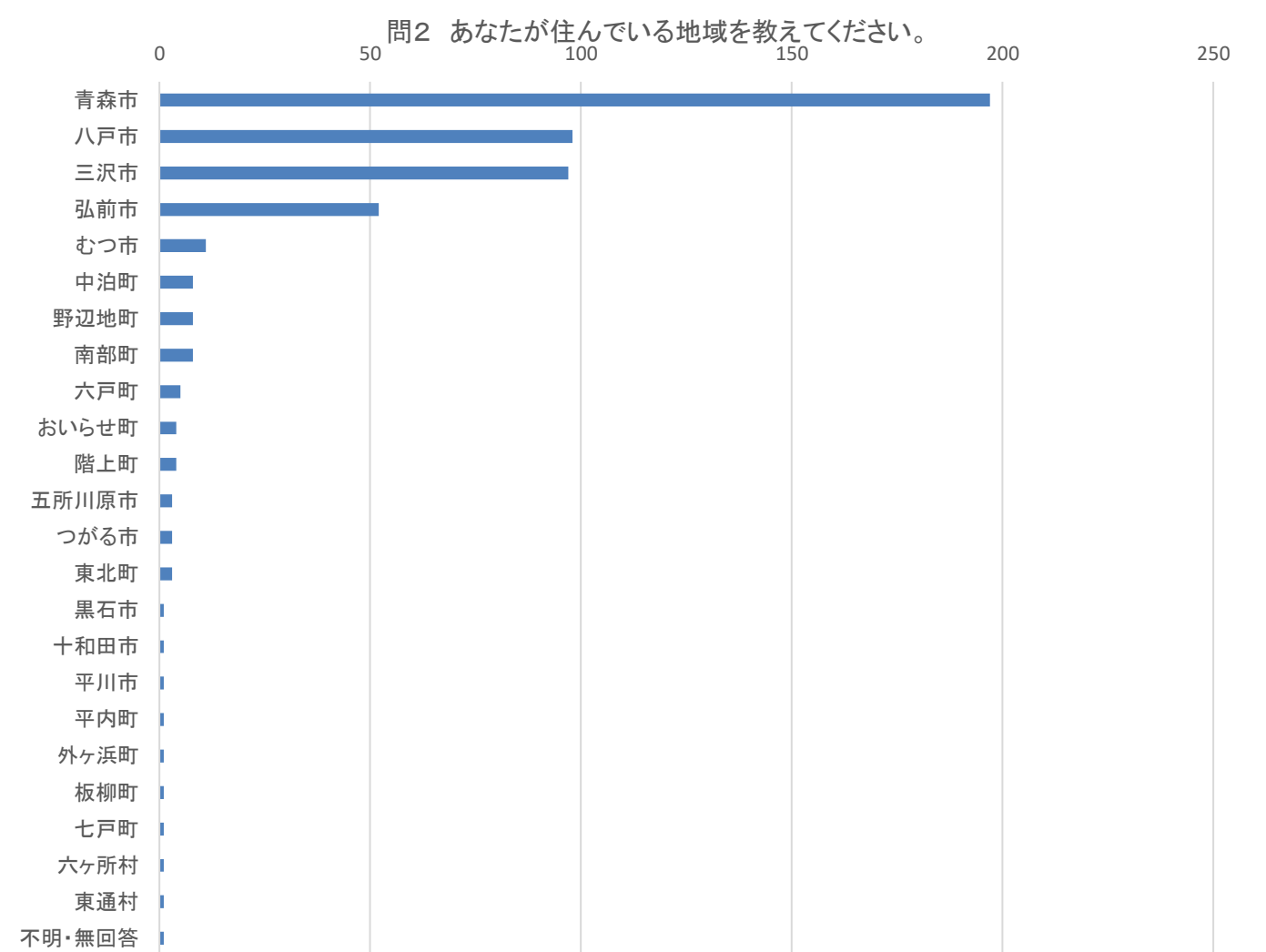
<国籍・地域>	件数	割合
ベトナム	201	39.3%
インドネシア	70	13.7%
中国	46	9.0%
タイ	39	7.6%
米国	29	5.7%
ネパール	17	3.3%
カンボジア	14	2.7%
フィリピン	13	2.5%
ミャンマー	13	2.5%
韓国	10	2.0%
モンゴル	10	2.0%
バングラデシュ	7	1.4%
台湾	7	1.4%
スリランカ	5	1.0%
カナダ	4	0.8%
マレーシア	4	0.8%
イタリア	4	0.8%
英国	3	0.6%
パキスタン	3	0.6%
フランス	2	0.4%
アイルランド	1	0.2%
ポツワナ	1	0.2%
ロシア	1	0.2%
ドイツ	1	0.2%
ブラジル	1	0.2%
ラオス	1	0.2%
トリニダード・トバコ	1	0.2%
不明・無回答	3	0.6%
回答者数	511	100.0%



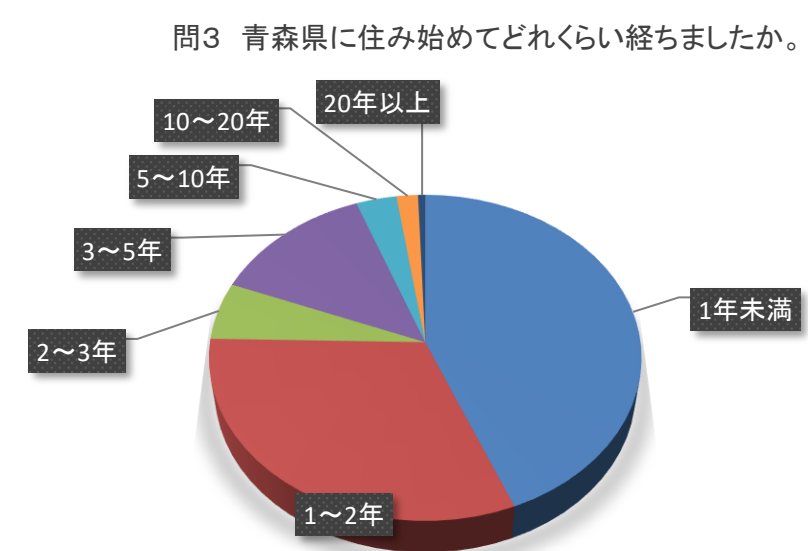
問1 あなたの年齢を教えてください。	件数	割合
① 10歳～19歳	43	8.4%
② 20歳～29歳	375	73.4%
③ 30歳～39歳	75	14.7%
④ 40歳～49歳	16	3.1%
⑤ 50歳～59歳	2	0.4%
⑥ 60歳～69歳	0	0.0%
⑦ 70歳以上(70歳～)	0	0.0%
回答者数	511	100.0%



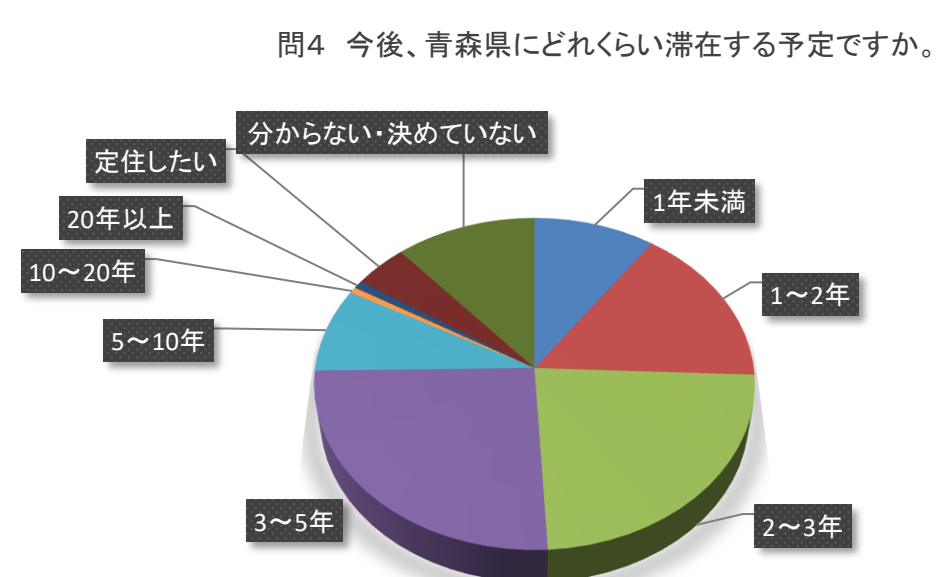
問2 あなたが住んでいる地域を教えてください。	件数	割合
青森市	197	38.6%
八戸市	98	19.2%
三沢市	97	19.0%
弘前市	52	10.2%
むつ市	11	2.2%
中泊町	8	1.6%
野辺地町	8	1.6%
南部町	8	1.6%
六戸町	5	1.0%
おいらせ町	4	0.8%
階上町	4	0.8%
五所川原市	3	0.6%
つがる市	3	0.6%
東北町	3	0.6%
黒石市	1	0.2%
十和田市	1	0.2%
平川市	1	0.2%
平内町	1	0.2%
外ヶ浜町	1	0.2%
板柳町	1	0.2%
七戸町	1	0.2%
六ヶ所村	1	0.2%
東通村	1	0.2%
不明・無回答	1	0.2%
回答者数	511	100.0%



問3 あなたが青森県に住み始めてどれくらい経ちましたか。	件数	割合
① 1年未満	224	43.8%
② 1年～2年未満	161	31.5%
③ 2年～3年未満	29	5.7%
④ 3年～5年未満	68	13.3%
⑤ 5年～10年未満	17	3.3%
⑥ 10～20年未満	9	1.8%
⑦ 20年以上	3	0.6%
回答者数	511	100.0%

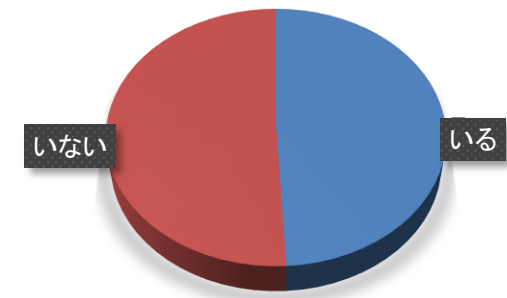


問4 あなたは今後、青森県にどれくらい滞在する予定ですか。	件数	割合
① 1年未満	50	9.8%
② 1年～2年未満	81	15.9%
③ 2年～3年未満	120	23.5%
④ 3年～5年未満	131	25.6%
⑤ 5年～10年未満	42	8.2%
⑥ 10～20年未満	3	0.6%
⑦ 20年以上	4	0.8%
⑧ 定住したい	22	4.3%
⑨ 分からない・決めていない	58	11.4%
回答者数	511	100.0%



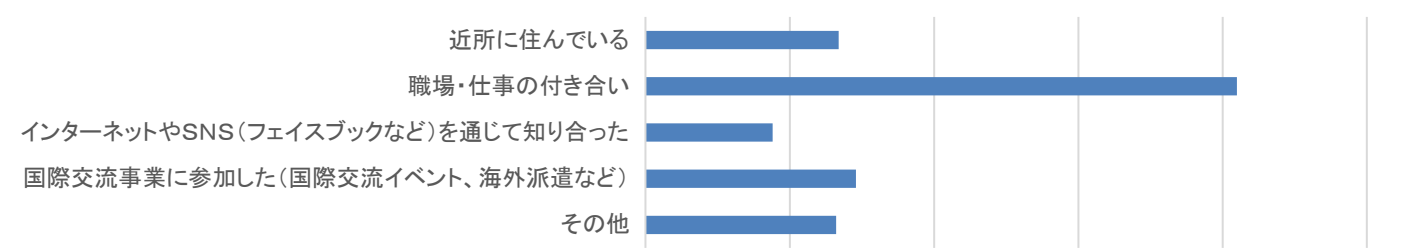
問5 あなたには青森県に暮らす日本人の友人・知人がいますか。	件数	割合
① いる → 問6へ	251	49.1%
② いない → 問7へ	260	50.9%
回答者数	511	100.0%

問5 青森県に暮らす日本人の友人・知人がいますか。



問6 青森県に暮らす日本人の友人・知人ができたきっかけは何ですか。(複数回答可)	件数	割合
① 近所に住んでいる	67	20.4%
② 職場・仕事の付き合い	205	62.3%
③ インターネットやSNS(フェイスブックなど)を通じて知り合った	44	13.4%
④ 国際交流事業に参加した(国際交流イベント、海外派遣など)	73	22.2%
⑤ その他	66	20.1%
回答者数	329	

問6 青森県に暮らす日本人の友人・知人ができたきっかけは何ですか。

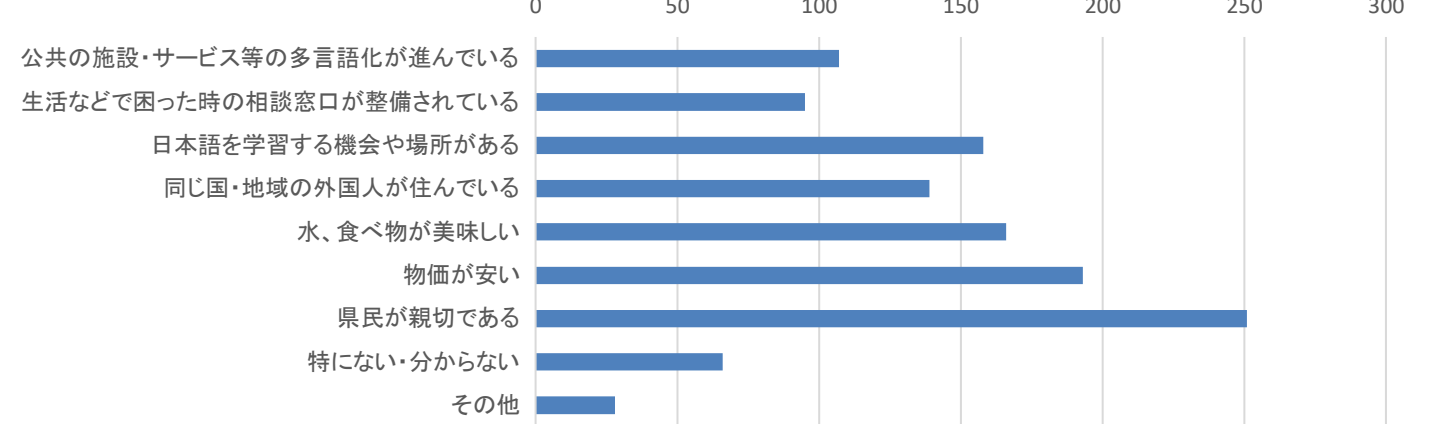


(⑤その他)

- ・ スポーツ、文化・祭り など
- ・ 友人・知人の紹介
- ・ 学校(高校、大学、日本語学校等)、部活動 など
- ・ 居酒屋
- ・ マッチングアプリ

問7 「外国人にとって青森県は暮らしやすい」と感じる事があつたら、次の中から選んでください。(複数回答可)	件数	割合
① 公共の施設・サービス等の多言語化が進んでいる	107	20.9%
② 生活などで困った時の相談窓口が整備されている	95	18.6%
③ 日本語を学習する機会や場所がある	158	30.9%
④ 同じ国・地域の外国人が住んでいる	139	27.2%
⑤ 水、食べ物が美味しい	166	32.5%
⑥ 物価が安い	193	37.8%
⑦ 県民が親切である	251	49.1%
⑧ 特にない・分からない	66	12.9%
⑨ その他	28	5.5%
回答者数	511	

問7 「外国人にとって青森県は暮らしやすい」と感じること

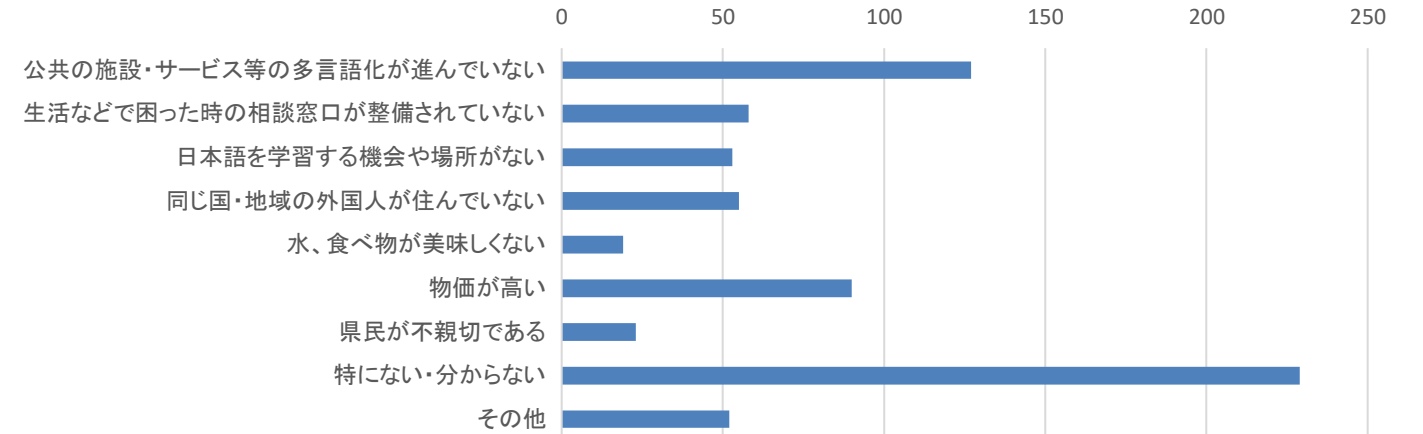


(⑨その他)

- ・ 自然環境が良い、静かな環境、空気がきれい、涼しい
- ・ 運動の場所が広い
- ・ 役場職員の面倒見がよい
- ・ 自然災害の心配が少ない
- ・ 母国の物が買える(三沢基地内)
- ・ 車の制限速度が低い
- ・ 通勤時間が短い
- ・ 旅行に向いている場所が多い
- ・ 生活でストレスが少ない

問8 「外国人にとって青森県は暮らしにくい」と感じる事があつたら、次の中から選んでください。(複数回答可)	件数	割合
① 公共の施設・サービス等の多言語化が進んでいない	127	24.9%
② 生活などで困った時の相談窓口が整備されていない	58	11.4%
③ 日本語を学習する機会や場所がない	53	10.4%
④ 同じ国・地域の外国人が住んでいない	55	10.8%
⑤ 水、食べ物が美味しくない	19	3.7%
⑥ 物価が高い	90	17.6%
⑦ 県民が不親切である	23	4.5%
⑧ 特にない・分からない	229	44.8%
⑨ その他	52	10.2%
回答者数	511	

問8 「外国人にとって青森県は暮らしにくい」と感じること

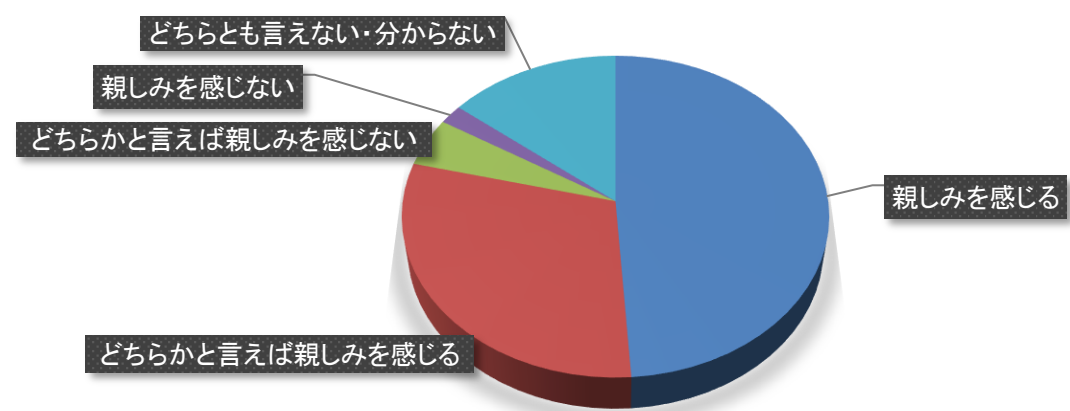


(⑨その他)

- ・ 雪が多い、寒い
- ・ 交通が不便
- ・ 遊ぶ所が少ない
- ・ 働き場所が少ない
- ・ 給料が少ない
- ・ 外国の食材が少ない
- ・ 津波警報の英語の説明がない

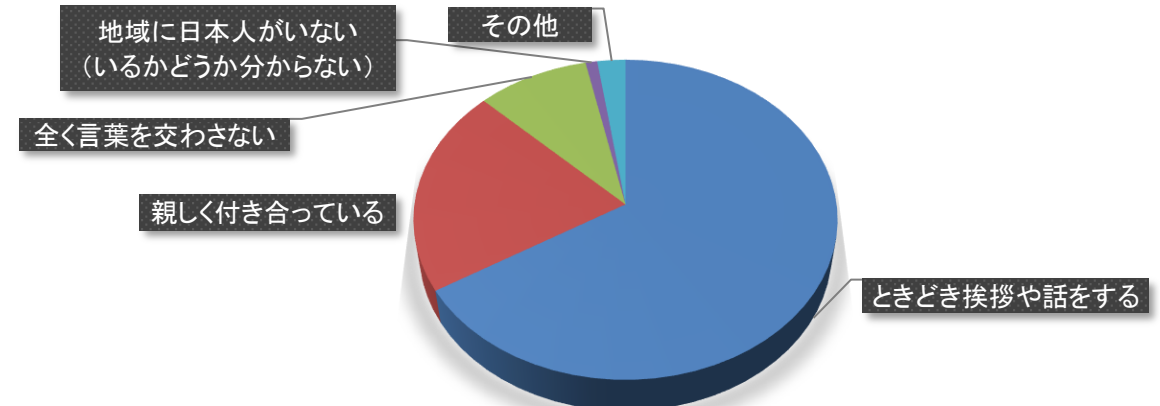
問9 あなたは、青森県に暮らす日本人に対してどのような印象を持っていますか。	件数	割合
① 親しみを感じる	250	48.9%
② どちらかと言えば親しみを感じる	153	29.9%
③ どちらかと言えば親しみを感じない	25	4.9%
④ 親しみを感じない	10	2.0%
⑤ どちらとも言えない・分からない	73	14.3%
回答者数	511	100.0%

問9 青森県に暮らす日本人に対してどのような印象を持っていますか。



問10 あなたは、現在、青森県に暮らす日本人とどのような付き合いをしていますか。	件数	割合
① ときどき挨拶や話をする	339	66.3%
② 親しく付き合っている	107	20.9%
③ 全く言葉を交わさない	48	9.4%
④ 地域に日本人がいない(いるかどうか分からない)	5	1.0%
⑤ その他	12	2.3%
回答者数	511	100.0%

問10 現在、青森県に暮らす日本人とどのような付き合いをしていますか。



(⑤その他)

- ・ サークルの友人とは仲が良いが、近所の人は付き合いがない
- ・ 地方に行くとき外国人だと驚かれる
- ・ ゴニンカン(トランプゲーム)を近所の人とやっている
- ・ 最初は仲良く接してくれるが言葉の壁で深い付き合いにならない

問 1 1	あなたは、今後、青森県に暮らす日本人とどのような付き合いをしていきたいですか。(複数回答可)	件数	割合
①	挨拶をしたい	210	41.1%
②	日常会話や情報交換、意見交換などをしたい	308	60.3%
③	語学を教えたい、または教えて欲しい	221	43.2%
④	文化やスポーツなどの交流をしたい	198	38.7%
⑤	地域の行事や祭りなどを一緒に取り組みたい	198	38.7%
⑥	あまり付き合いたくない	11	2.2%
⑦	分からない	44	8.6%
⑧	その他	6	1.2%
		回答者数	511

- (⑧その他)
- ・ 青森の人と深く付き合いたい
 - ・ 青森の文化に慣れるために現地の人と触れ合いたい

問 1 2	あなたは、青森県に暮らす日本人の行動について気になったり、文化の違いなどに起因するトラブルになったことはありますか。	件数	割合
①	あった → 問 1 3 へ	54	10.6%
②	なかった → 問 1 4 へ	432	84.5%
③	(地域に日本人が住んでいないため) 経験がない → 問 1 4 へ	25	4.9%
		回答者数	511

問 1 3	トラブル等がどのような内容だったか、差し支えない範囲で教えてください。(例：冬の雪かきの時、雪の捨て方が原因でトラブルになった など)
(内容 :)	

- ・ 文化的な違いによる問題の解決方法
- ・ 侮辱、差別
- ・ 交通マナー(スピードの出し過ぎ、あおり運転 など)
- ・ 病院でのトラブル(十分な情報をくれなかった、外国人だから嫌な態度をされた)
- ・ 騒音問題
- ・ 雪の捨て方
- ・ 寮の帰り道で、車の中にいる人に変な声で話しかけられた
- ・ 日本人はジョークでよく体重的話をするが、するべきではない
- ・ トラブル等について直接言っていない(大家など他人を介して伝える)
- ・ 日本人がよく言う「今まではこうしていた」
- ・ 書類手続の煩雑さ
- ・ 酔っ払いによる絡み
- ・ ヘイトスピーチ

問 1 4	あなたは、青森県に暮らす日本人と互いに理解して生活するため、青森県に暮らす日本人に望むことはありますか。(複数回答可)	件数	割合
①	日頃から挨拶したり、声をかけるなどお互いに顔が見える関係をつくって欲しい	261	51.1%
②	地域の行事や祭りなどに外国人が参加しやすい環境をつくって欲しい	206	40.3%
③	地域のルールなどを外国人に分かりやすく情報提供して欲しい	174	34.1%
④	外国人の生活習慣や文化などについて理解を深めて欲しい	141	27.6%
⑤	外国人に対する先入観や固定観念にとらわれないようにして欲しい	197	38.6%
⑥	言葉の壁を取り払う努力をして欲しい(外国人に日本語を教える、日本人が外国語を学ぶ等)	230	45.0%
⑦	何をしたらよいか分からない	24	4.7%
⑧	特に何かをする必要はない	33	6.5%
⑨	その他	5	1.0%
		回答者数	511

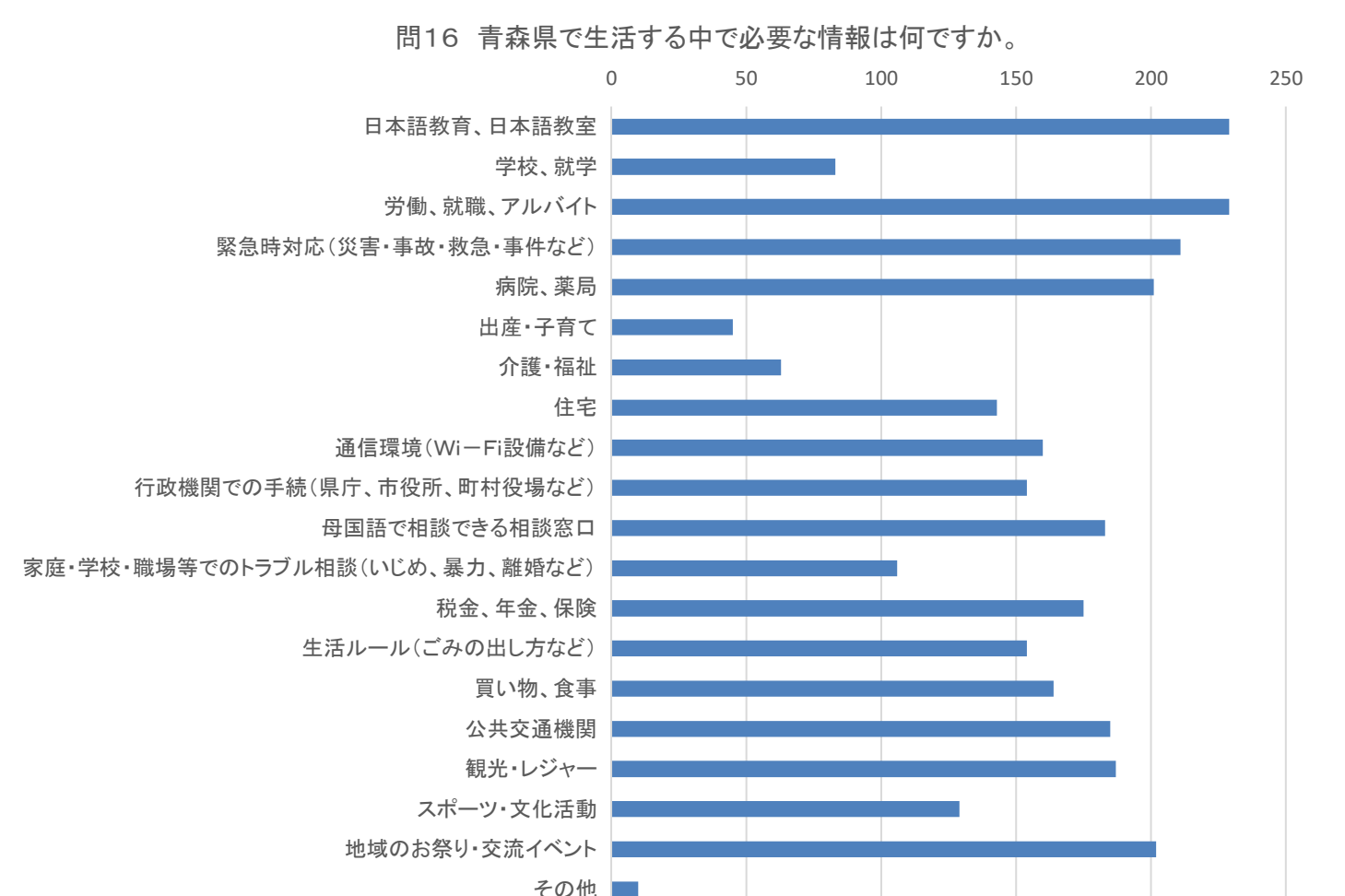
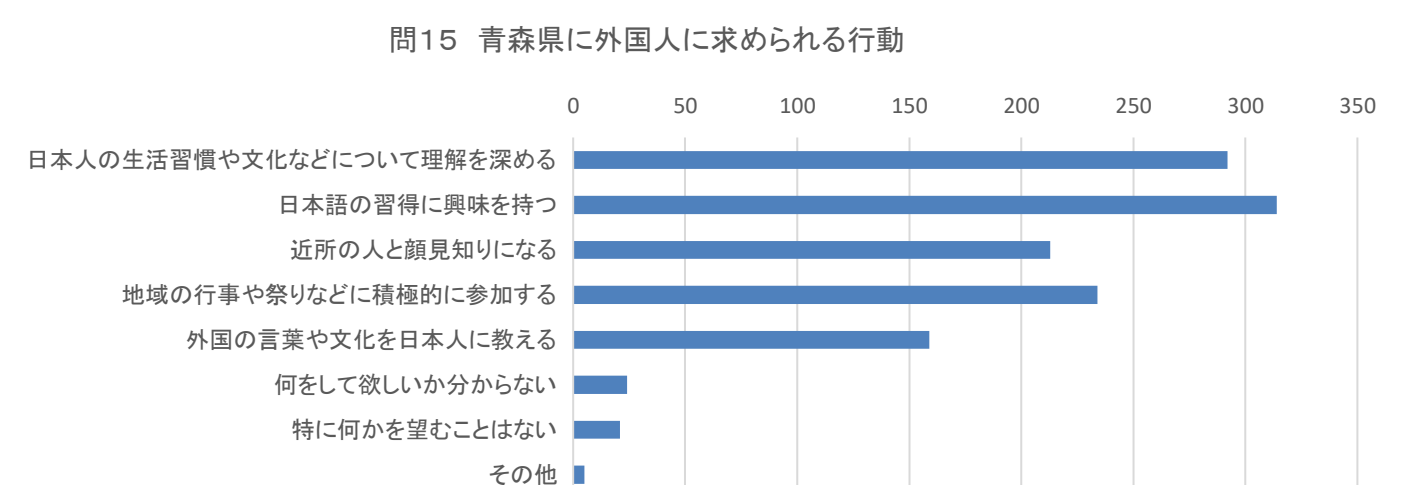
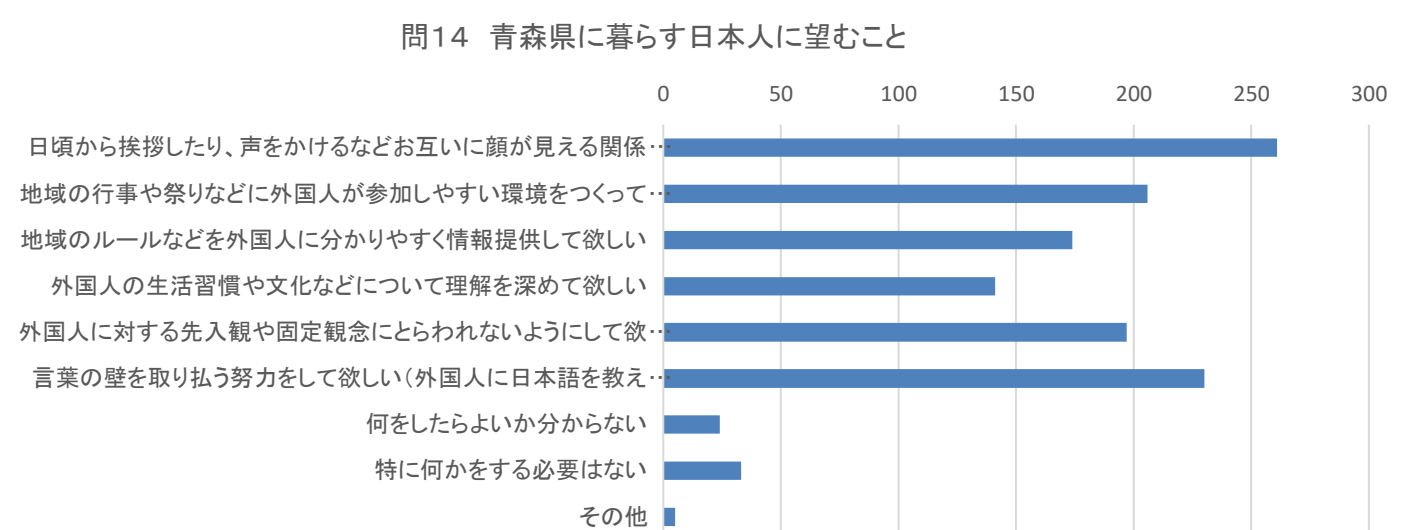
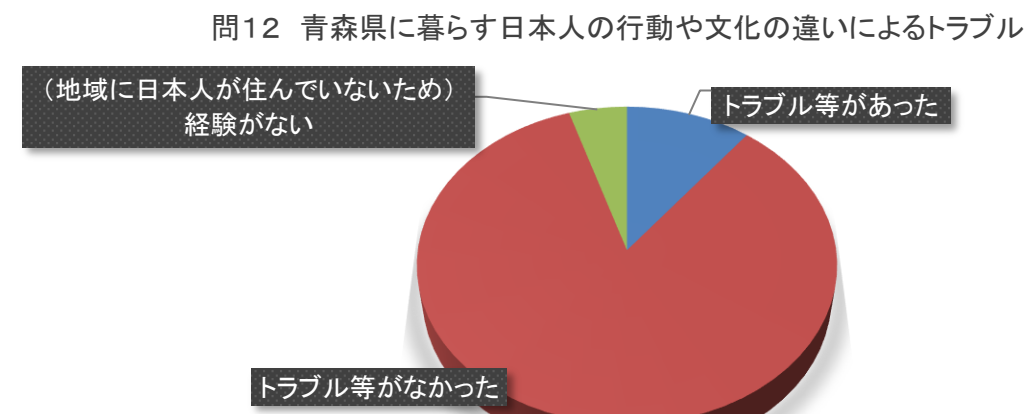
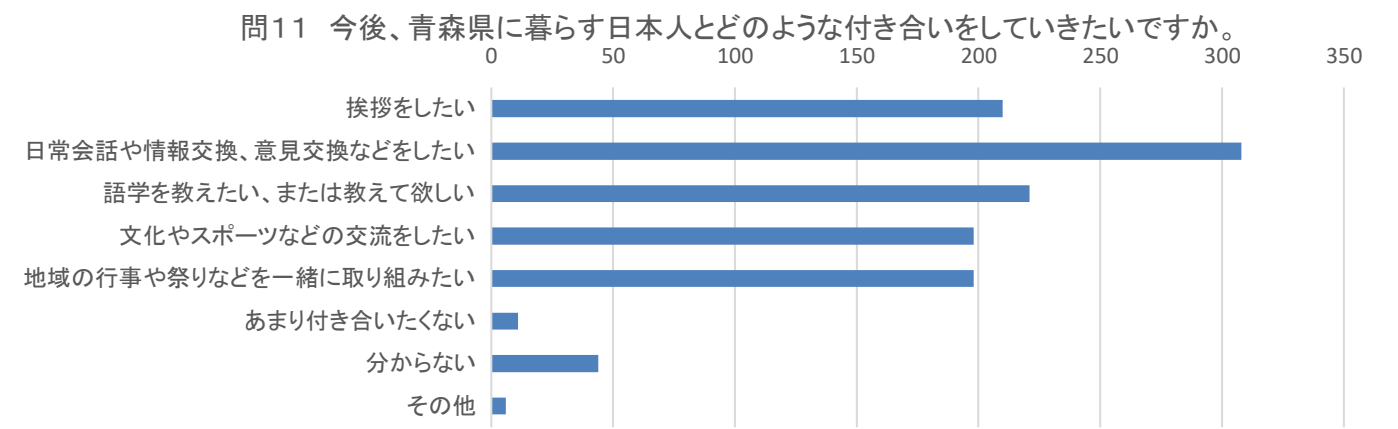
- (⑨その他)
- ・ 交流や日本語学習の機会を増やしてほしい
 - ・ 日本語で話しかけてほしい(外国人だからといって英語で話すのではなく)
 - ・ 「LGBT+Q」についてももっと知ってほしい

問 1 5	あなたは、青森県に暮らす日本人と互いに理解して生活するため、青森県に暮らす外国人にどのような行動が求められると思いますか。(複数回答可)	件数	割合
①	日本人の生活習慣や文化などについて理解を深める	292	57.1%
②	日本語の習得に興味を持つ	314	61.4%
③	近所の人と顔見知りになる	213	41.7%
④	地域の行事や祭りなどに積極的に参加する	234	45.8%
⑤	外国の言葉や文化を日本人に教える	159	31.1%
⑥	何をしたいか分からない	24	4.7%
⑦	特に何かを望むことはない	21	4.1%
⑧	その他	5	1.0%
		回答者数	511

- (その他の主な内容)
- ・ 接しやすい人になる
 - ・ 怖がらず好奇心をもって接する
 - ・ 外国人同士だけではなく、地元の日本人を多く過ごす

問 1 6	あなたが青森県で生活する中で必要な情報は何か。(複数回答可)	件数	割合
①	日本語教育、日本語教室	229	44.8%
②	学校、就学	83	16.2%
③	労働、就職、アルバイト	229	44.8%
④	緊急時対応(災害・事故・救急・事件など)	211	41.3%
⑤	病院、薬局	201	39.3%
⑥	出産・子育て	45	8.8%
⑦	介護・福祉	63	12.3%
⑧	住宅	143	28.0%
⑨	通信環境(Wi-Fi設備など)	160	31.3%
⑩	行政機関での手続(県庁、市役所、町村役場など)	154	30.1%
⑪	母国語で相談できる相談窓口	183	35.8%
⑫	家庭・学校・職場等でのトラブル相談(いじめ、暴力、離婚など)	106	20.7%
⑬	税金、年金、保険	175	34.2%
⑭	生活ルール(ごみの出し方など)	154	30.1%
⑮	買い物、食事	164	32.1%
⑯	公共交通機関	185	36.2%
⑰	観光・レジャー	187	36.6%
⑱	スポーツ・文化活動	129	25.2%
⑲	地域のお祭り・交流イベント	202	39.5%
⑳	その他	10	2.0%
		回答者数	511

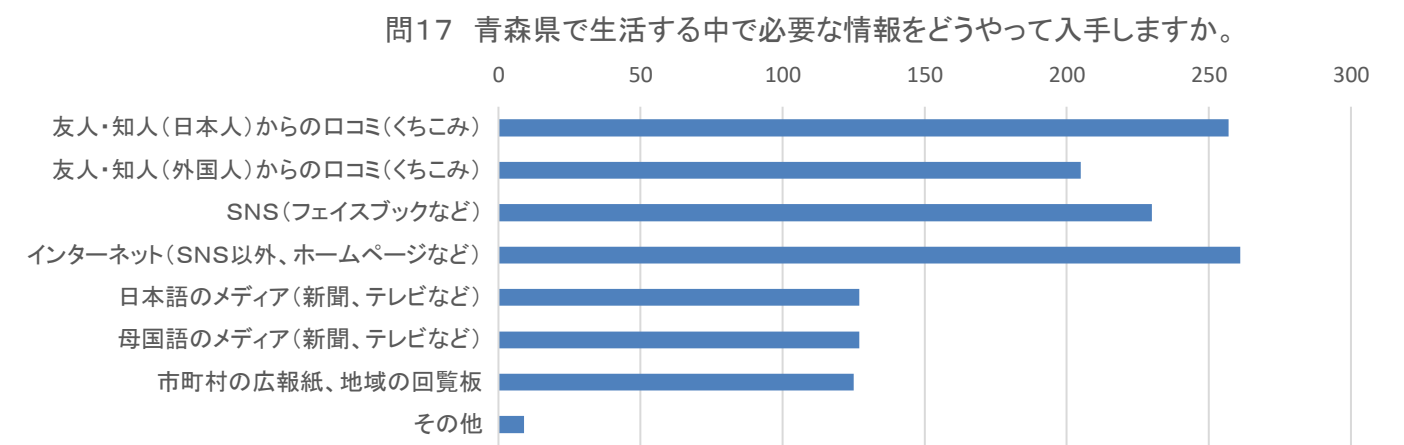
- (⑳その他)
- ・ 預金、貯金
 - ・ 支援、給付
 - ・ 公共施設で通訳を置いてほしい



問17 問16について、あなたは、必要な情報をどうやって入手しますか。(複数回答可)	件数	割合
① 友人・知人(日本人)からの口コミ(くちこみ)	257	50.3%
② 友人・知人(外国人)からの口コミ(くちこみ)	205	40.1%
③ SNS(フェイスブックなど)	230	45.0%
④ インターネット(SNS以外、ホームページなど)	261	51.1%
⑤ 日本語のメディア(新聞、テレビなど)	127	24.9%
⑥ 母国語のメディア(新聞、テレビなど)	127	24.9%
⑦ 市町村の広報紙、地域の回覧板	125	24.5%
⑧ その他	9	1.8%
	回答者数	511

(⑧その他)

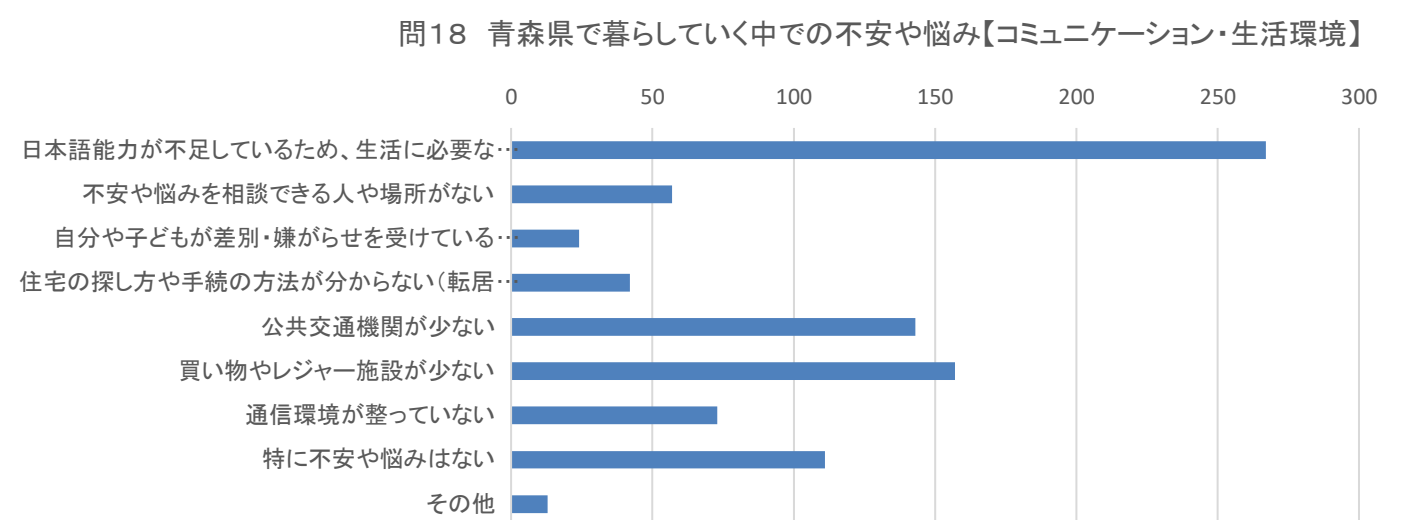
- ・ 雇用主
- ・ 祭り・交流イベントの情報は口頭で知ることが多いが、HPやメルマガ等で教えてほしい



問18 【コミュニケーション・生活環境】 あなたが青森県で暮らしていく中での不安や悩みを教えてください。(複数回答可)	件数	割合
① 日本語能力が不足しているため、生活に必要な情報の入手や相談ができない	267	52.3%
② 不安や悩みを相談できる人や場所がない	57	11.2%
③ 自分や子どもが差別・嫌がらせを受けている(学校・職場・近所の人などから)	24	4.7%
④ 住宅の探し方や手続の方法が分からない(転居したい時に)	42	8.2%
⑤ 公共交通機関が少ない	143	28.0%
⑥ 買い物やレジャー施設が少ない	157	30.7%
⑦ 通信環境が整っていない	73	14.3%
⑧ 特に不安や悩みはない	111	21.7%
⑨ その他	13	2.5%
	回答者数	511

(⑨その他)

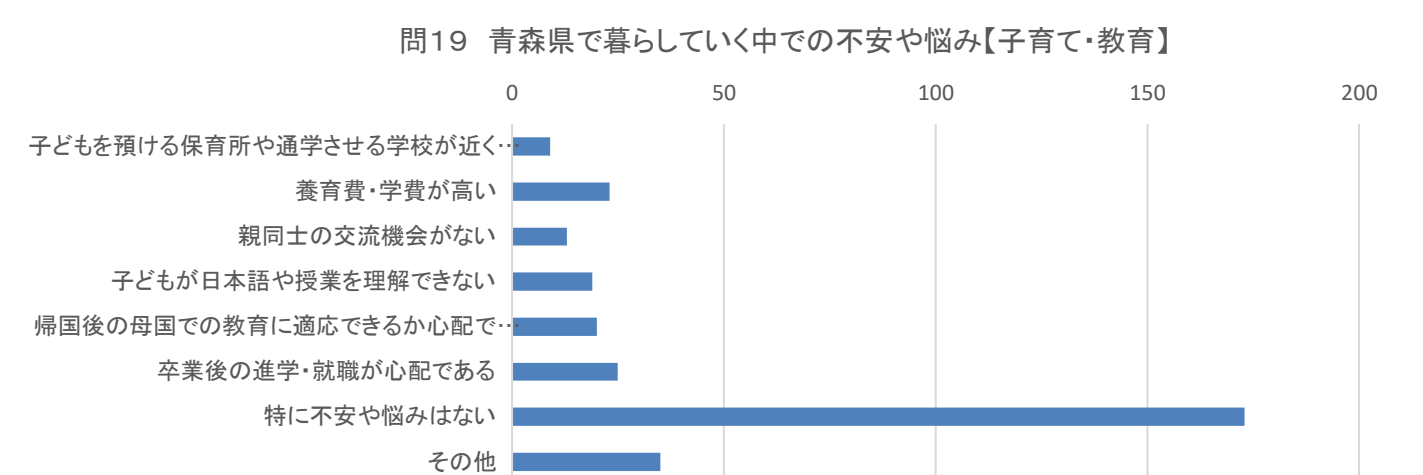
- ・ 時給が安い
- ・ 仕事が少ない
- ・ 仕事がきつクワークライフバランスがとれない
- ・ 緊急時対応が分からない
- ・ レストランの食事(アレルギー、ベジタリアン)
- ・ 他のセクシャルマイノリティの人と出会いにくい
- ・ サークル活動をしたいが日本人を介さないとサークルに入りにくい



問19 【子育て・教育】 ※現在、青森県内で子育てをされている方が回答対象 あなたが青森県で暮らしていく中での不安や悩みを教えてください。(複数回答可)	件数	割合
① 子どもを預ける保育所や通学させる学校が近くにない	9	3.4%
② 養育費・学費が高い	23	8.6%
③ 親同士の交流機会がない	13	4.9%
④ 子どもが日本語や授業を理解できない	19	7.1%
⑤ 帰国後の母国での教育に適應できるか心配である	20	7.5%
⑥ 卒業後の進学・就職が心配である	25	9.4%
⑦ 特に不安や悩みはない	173	64.8%
⑧ その他	35	13.1%
	回答者数	267

(その他の主な内容)

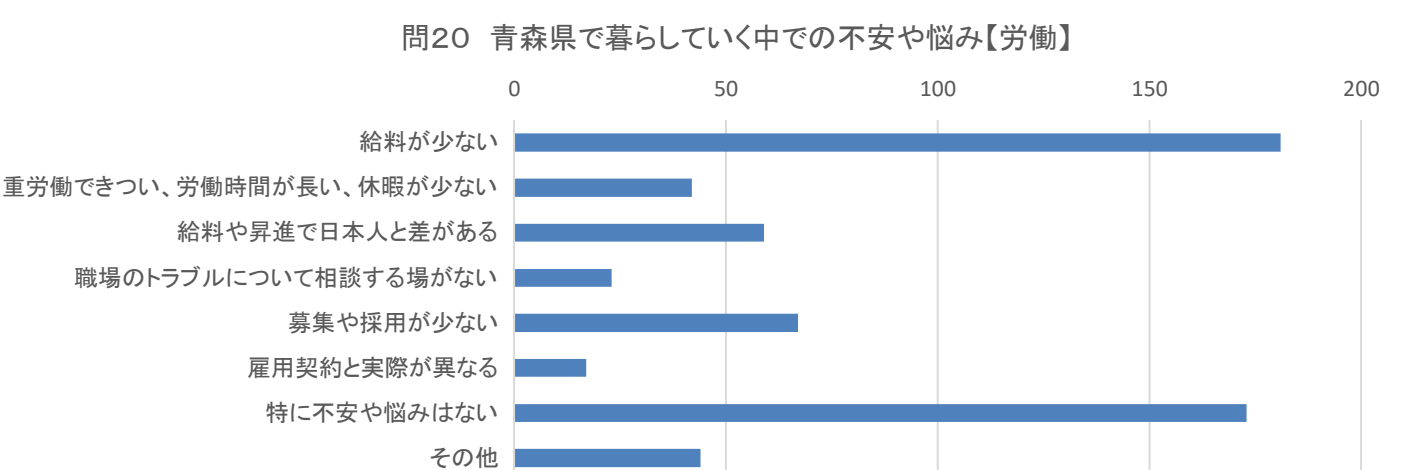
- ・ 子どもへの差別



問20 【労働】 ※現在、青森県内で働いている方(アルバイト含む)が回答対象 あなたが青森県で暮らしていく中での不安や悩みを教えてください。(複数回答可)	件数	割合
① 給料が少ない	181	44.3%
② 重労働できつい、労働時間が長い、休暇が少ない	42	10.3%
③ 給料や昇進で日本人と差がある	59	14.4%
④ 職場のトラブルについて相談する場がない	23	5.6%
⑤ 募集や採用が少ない	67	16.4%
⑥ 雇用契約と実態が異なる	17	4.2%
⑦ 特に不安や悩みはない	173	42.3%
⑧ その他	44	10.8%
	回答者数	409

(その他の主な内容)

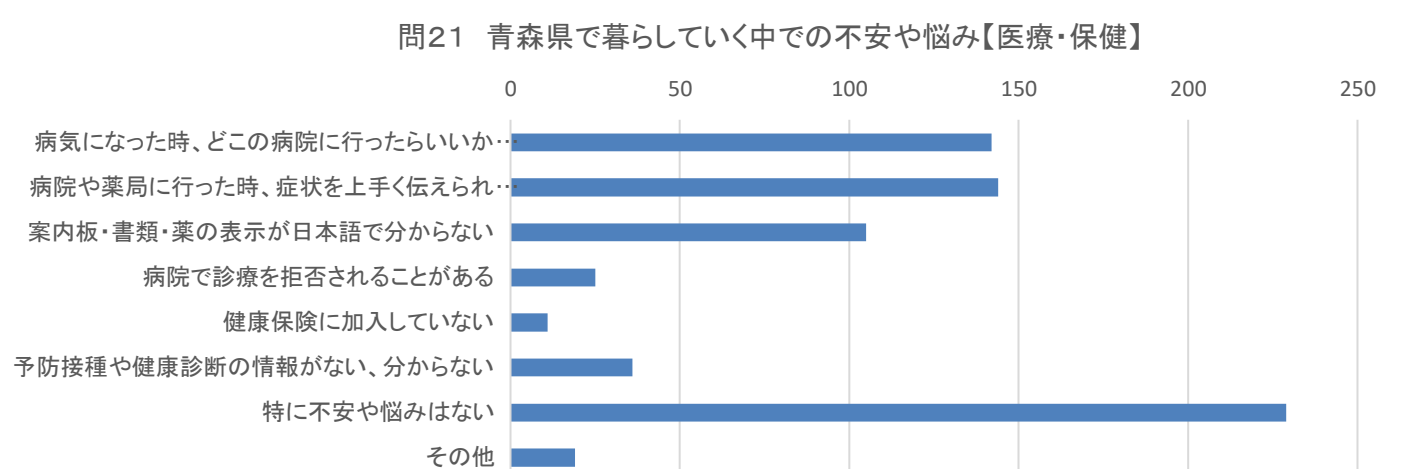
- ・ 冬の雪
- ・ 2年間青森で働いているが職場に外国人は1人だけで溶け込めない
- ・ 職場でのパワハラに対する対応が分からない。労働組合も解決してくれない。



問21 【医療・保健】 あなたが青森県で暮らしていく中での不安や悩みを教えてください。(複数回答可)	件数	割合
① 病気になった時、どこの病院に行ったらいいか分からない	142	27.8%
② 病院や薬局に行った時、症状を上手く伝えられない	144	28.2%
③ 案内板・書類・薬の表示が日本語で分からない	105	20.5%
④ 病院で診療を拒否されることがある	25	4.9%
⑤ 健康保険に加入していない	11	2.2%
⑥ 予防接種や健康診断の情報が無い、分からない	36	7.0%
⑦ 特に不安や悩みはない	229	44.8%
⑧ その他	19	3.7%
	回答者数	511

(⑧その他)

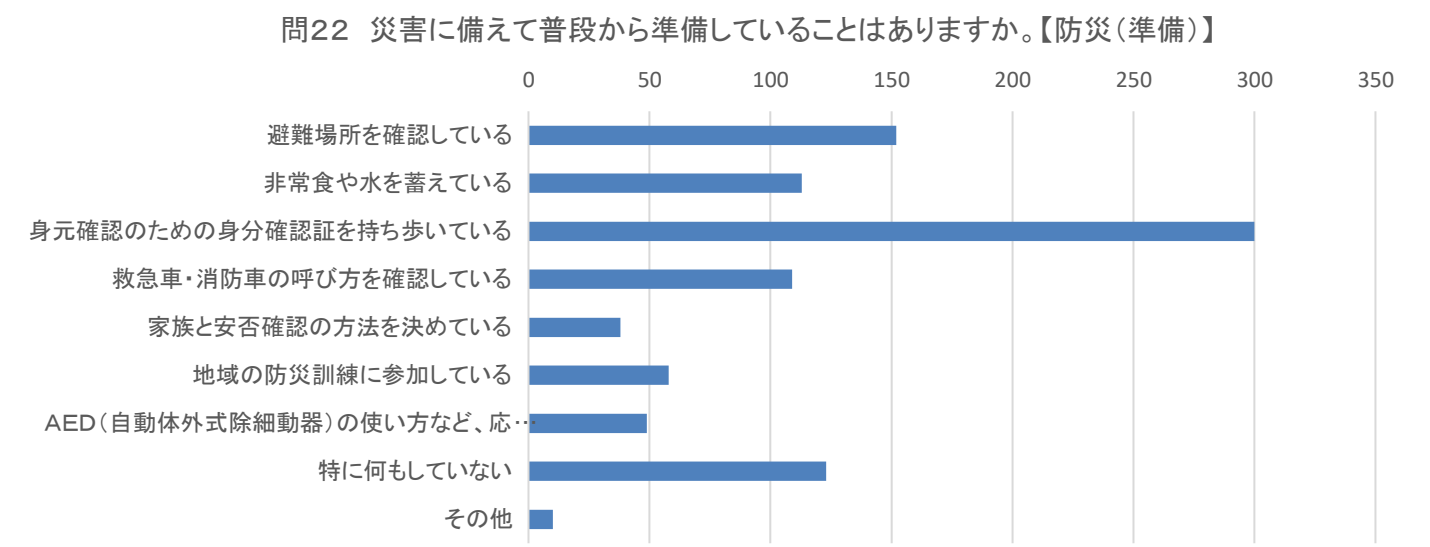
- ・ 日本の医者たちは患者さんの言ってることや悩みに全然聞いてくれなくて、早くたくさん薬出すだけ
- ・ 日本の医者は働き過ぎ。一人一人の患者まで診られない
- ・ 日本の医師は1人で診察するため待ち時間が長い。外国では複数の医師が対応する所が多い
- ・ 外国人向けのメンタルサービスがあるとよい



問22 【防災（準備）】 あなたは、災害に備えて普段から準備していることはありますか。（複数回答可）	件数	割合
① 避難場所を確認している	152	29.7%
② 非常食や水を蓄えている	113	22.1%
③ 身元確認のための身分確認証を持ち歩いている	300	58.7%
④ 救急車・消防車の呼び方を確認している	109	21.3%
⑤ 家族と安否確認の方法を決めている	38	7.4%
⑥ 地域の防災訓練に参加している	58	11.4%
⑦ AED（自動体外式除細動器）の使い方など、応急手当の方法を学んでいる	49	9.6%
⑧ 特に何もしていない	123	24.1%
⑨ その他	10	2.0%
回答者数	511	

(⑨その他)

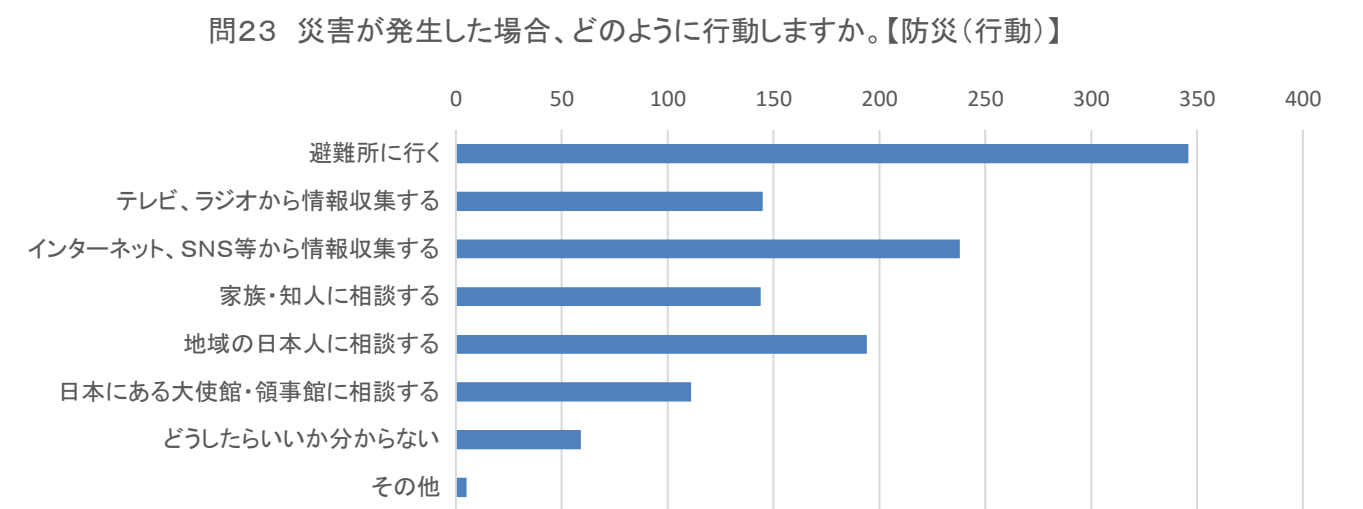
- ・ 寮に防災袋がある
- ・ インターネットを利用して自然災害時に身を守る方法を学ぶ



問23 【防災（行動）】 あなたは、青森県内で災害が発生した場合、どのように行動しますか。（複数回答可）	件数	割合
① 避難所に行く	346	67.7%
② テレビ、ラジオから情報収集する	145	28.4%
③ インターネット、SNS等から情報収集する	238	46.6%
④ 家族・知人に相談する	144	28.2%
⑤ 地域の日本人に相談する	194	38.0%
⑥ 日本にある大使館・領事館に相談する	111	21.7%
⑦ どうしたらいいかわからない	59	11.5%
⑧ その他	5	1.0%
回答者数	511	

(⑧その他)

- ・ 慌てない



問24 このアンケートや多文化共生全般に関して意見・考えなどありましたら自由に記載してください。
(自由回答)

- ・ 多文化共生に関する調査の実施に対する謝意(勉強になった、歓迎されている気持ちになった など)
- ・ 交流機会を増やしてほしい
- ・ 給料は少ないがいい所だ
- ・ 日本のこととここがあったらどうすればいいかとおもいました
- ・ 青森市は多言語対応しているが、町村部は多言語対応ができていない
- ・ 多文化共生には個々の努力が必要
- ・ ダンスや武芸の施設に関する情報が少ない

青森県多文化共生推進プランの策定に向けた実態調査 集計結果

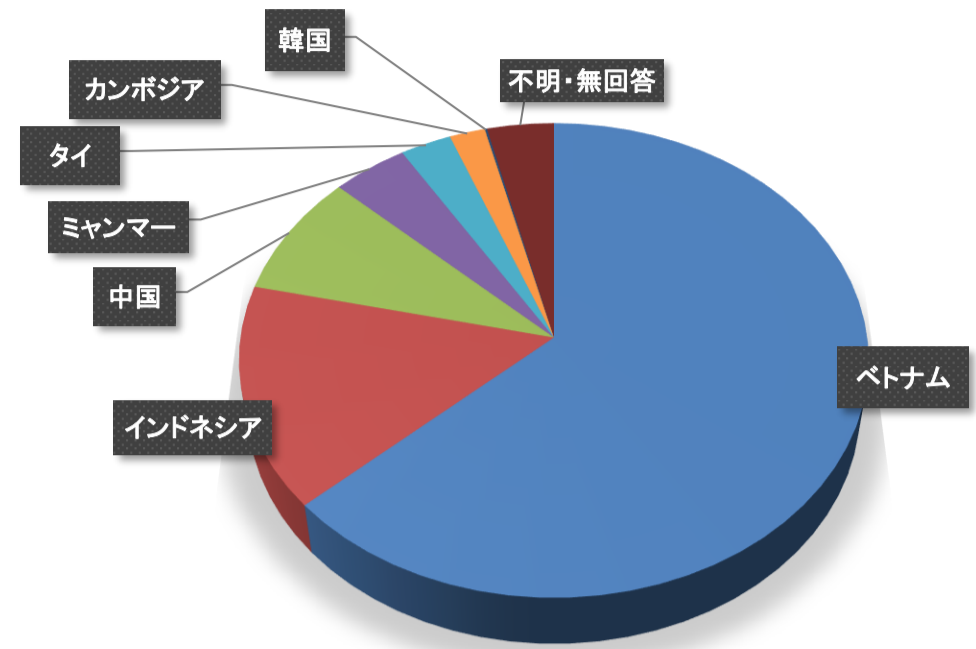
【事業者向け調査】

問1 外国人労働者の雇用状況について

① 雇用人数、国・地域

区分	件数	割合
ベトナム	505	63.4%
インドネシア	121	15.2%
中国	67	8.4%
ミャンマー	34	4.3%
タイ	23	2.9%
カンボジア	16	2.0%
韓国	1	0.1%
不明・無回答	30	3.8%
回答者数	797	100%

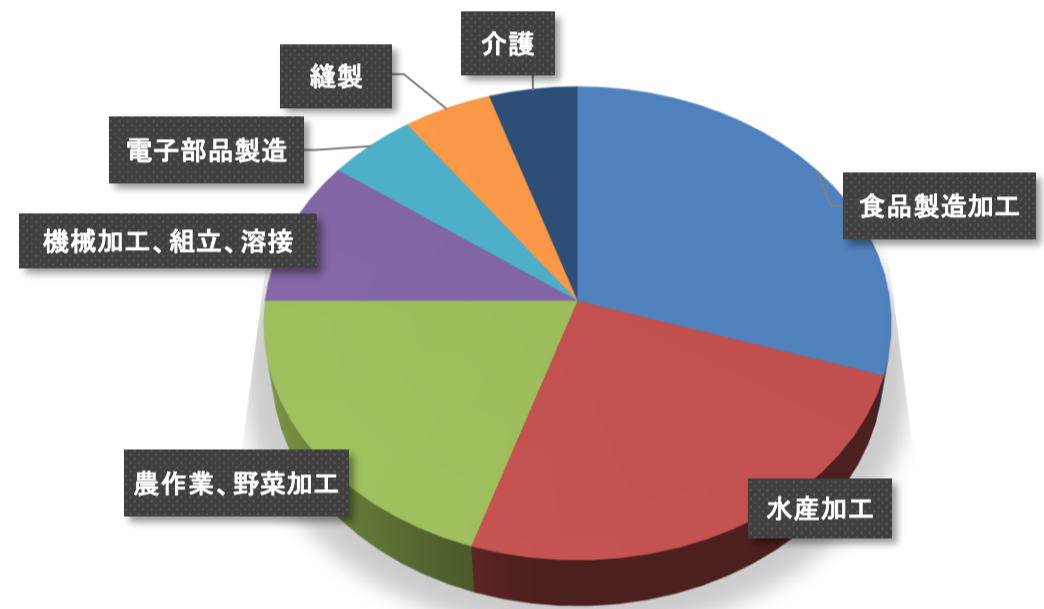
問1-① 雇用人数、国地域



② 職種

区分	件数	割合
食品製造加工	6	30.0%
水産加工	5	25.0%
農作業、野菜加工	4	20.0%
機械加工、組立、溶接	2	10.0%
電子部品製造	1	5.0%
縫製	1	5.0%
介護	1	5.0%
回答者数	20	100.0%

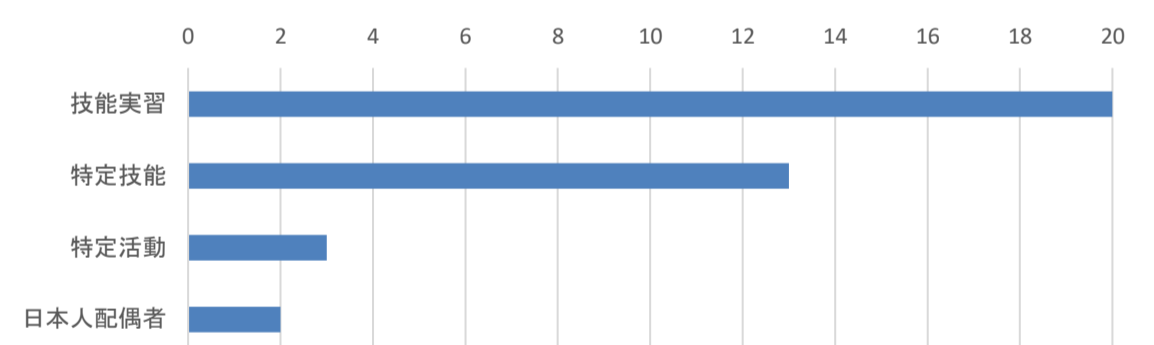
問1-② 職種



③ 在留資格（複数回答）

区分	件数	割合
技能実習	20	100.0%
特定技能	13	65.0%
特定活動	3	15.0%
日本人配偶者	2	10.0%
回答者数	20	

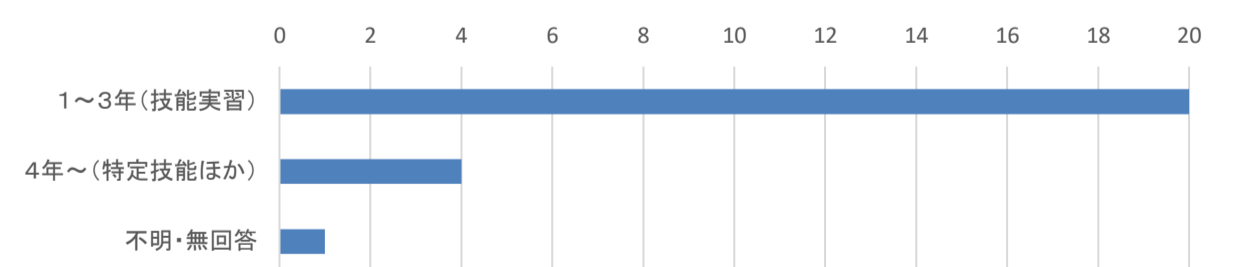
問1-③ 在留資格



④ 雇用期間（複数回答）

区分	件数	割合
1～3年（技能実習）	20	100.0%
4年～（特定技能ほか）	4	20.0%
不明・無回答	1	5.0%
回答者数	20	

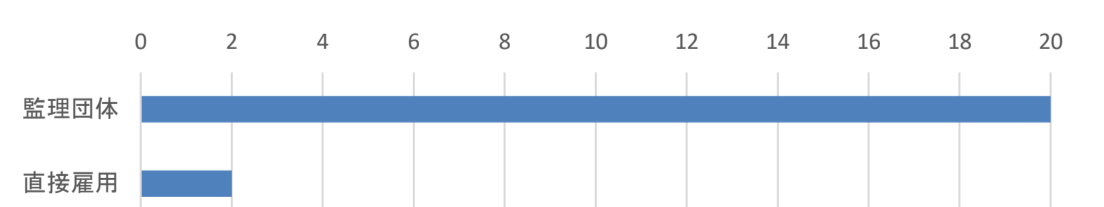
問1-④ 雇用期間



⑤ 雇用方法（複数回答）

区分	件数	割合
監理団体	20	100.0%
直接雇用	2	10.0%
回答者数	20	

問1-⑤ 雇用方法

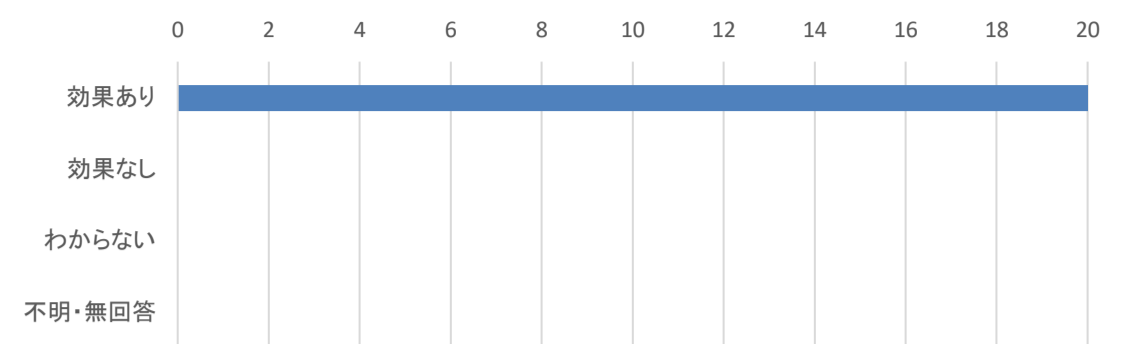


問2 外国人労働者の雇用動機と雇用効果について

① 人手不足

区分	件数	割合
効果あり	20	100.0%
効果なし	0	0.0%
わからない	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%
回答者数	20	100.0%

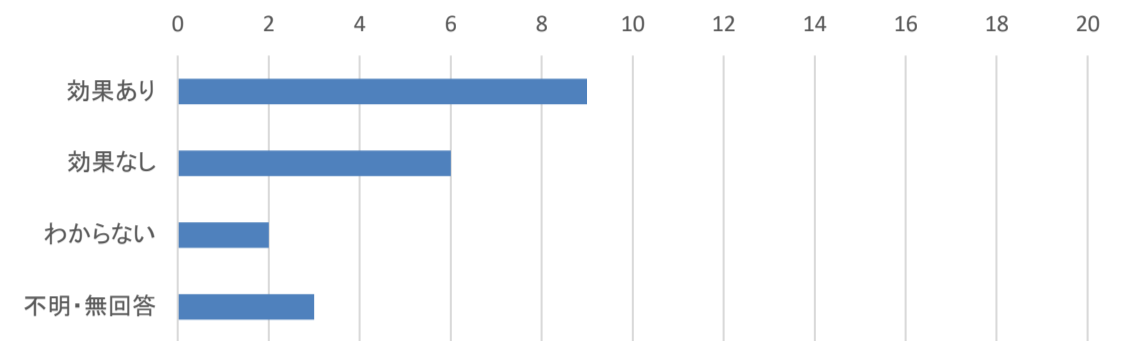
問2-① 人手不足



② 専門知識・技能（通訳など含む）

区分	件数	割合
効果あり	9	45.0%
効果なし	6	30.0%
わからない	2	10.0%
不明・無回答	3	15.0%
回答者数	20	100.0%

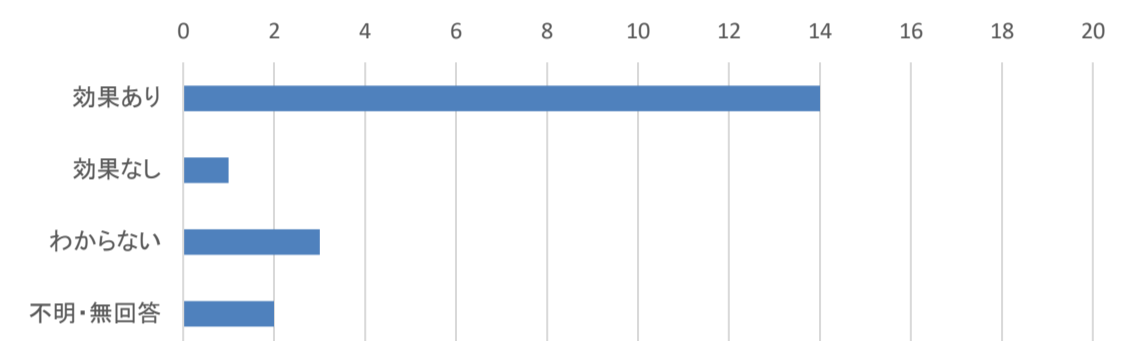
問2-② 専門知識・技能（通訳など含む）



③ 企業活性化

区分	件数	割合
効果あり	14	70.0%
効果なし	1	5.0%
わからない	3	15.0%
不明・無回答	2	10.0%
回答者数	20	100.0%

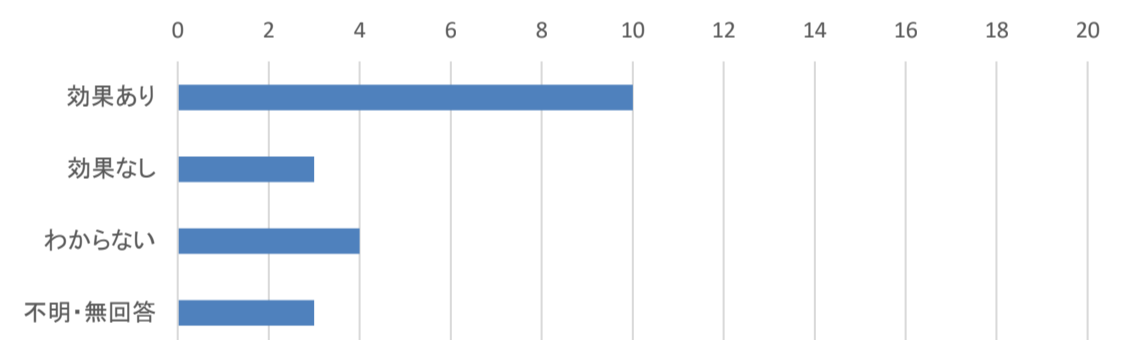
問2-③ 企業活性化



④ 国際交流・国際貢献

区分	件数	割合
効果あり	10	50.0%
効果なし	3	15.0%
わからない	4	20.0%
不明・無回答	3	15.0%
回答者数	20	100.0%

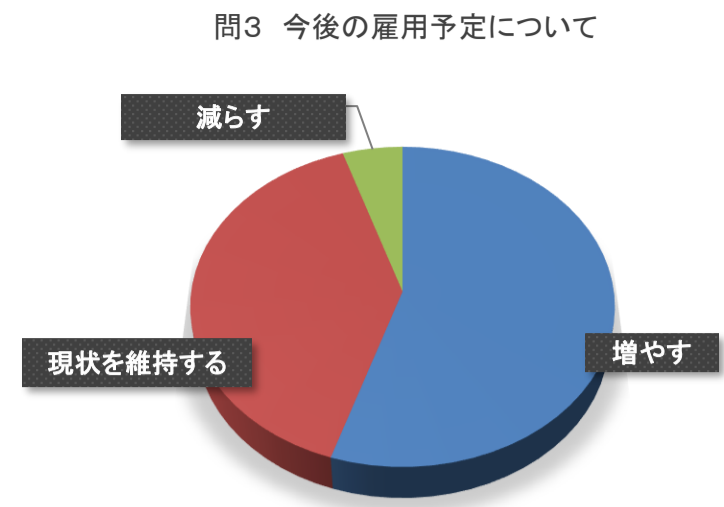
問2-④ 国際交流・国際貢献



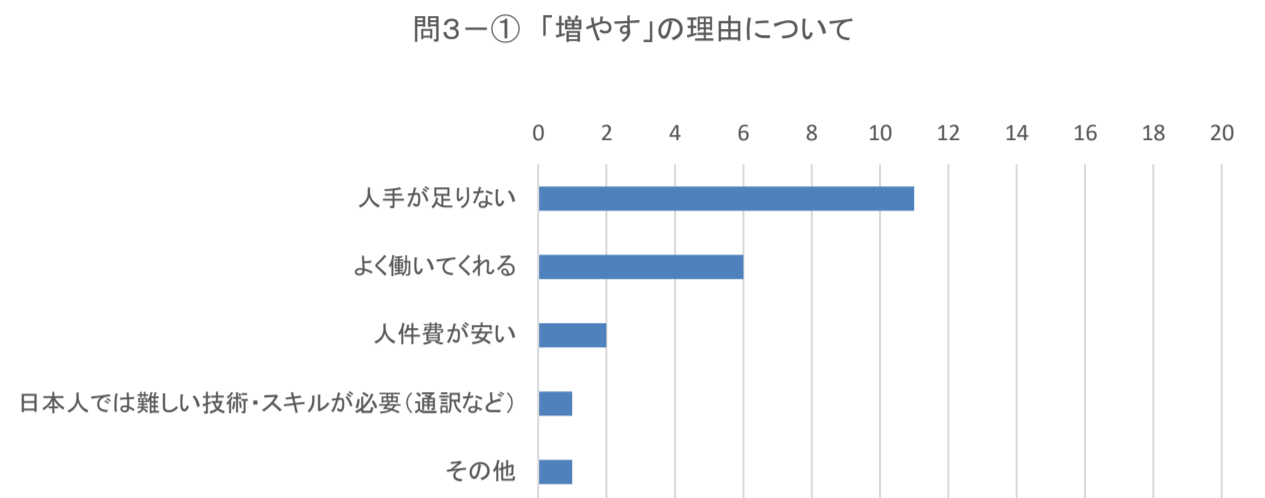
(問2 コメント)

- ・日本人の採用が難しい。募集しても集まらない。
- ・日本人の定年退職を技能実習生で補完している。
- ・薬学部卒業で検査室で活躍している者もいる。
- ・実習生が積極的に挨拶するのが日本人社員にも広まって挨拶が増えた。

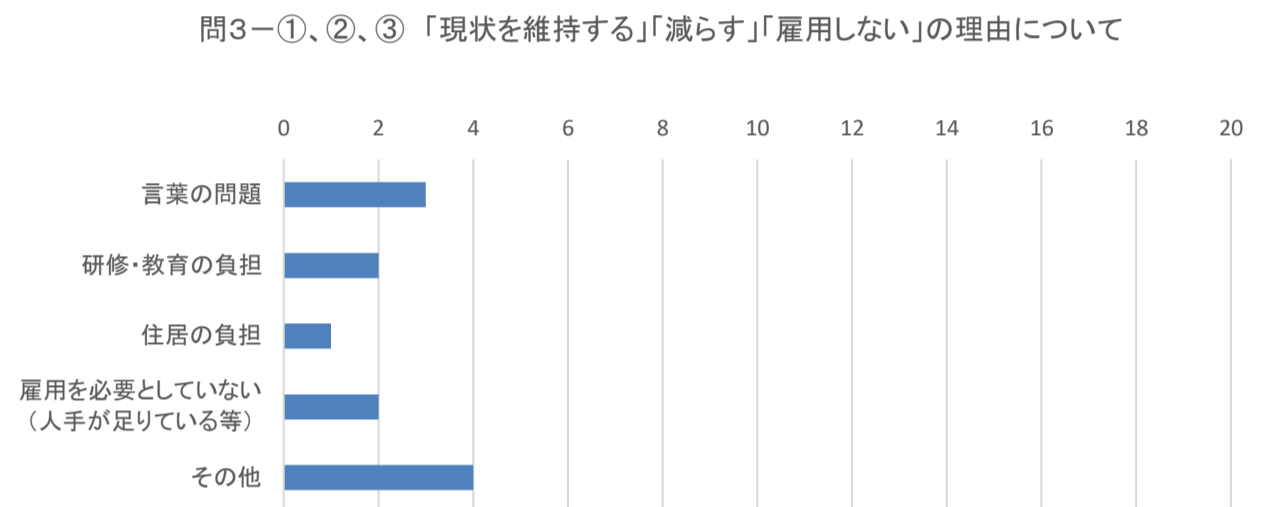
問3 今後の雇用予定について		
区分	件数	割合
増やす	11	55.0%
現状を維持する	8	40.0%
減らす	1	5.0%
雇用しない	0	0.0%
回答者数	20	100.0%



問3-① 「増やす」の理由について（複数回答）		
区分	件数	割合
人手が足りない	11	100.0%
よく働いてくれる	6	54.5%
人件費が安い	2	18.2%
日本人では難しい技術・スキルが必要（通訳など）	1	9.1%
その他	1	9.1%
回答者数	11	



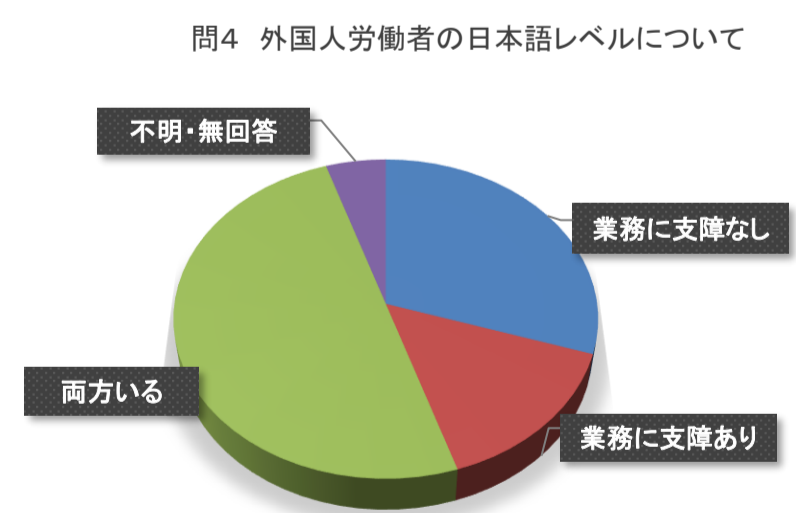
問3-②、③、④「現状を維持する」「減らす」「雇用しない」の理由について（複数回答）		
区分	件数	割合
言葉の問題	3	33.3%
研修・教育の負担	2	22.2%
住居の負担	1	11.1%
雇用を必要としていない（人手が足りている等）	2	22.2%
その他	4	44.4%
回答者数	9	



（問3 コメント）

- ・ 今後の受注状況により雇用を検討する。
- ・ 来年度は増やしたい。退職など減る分について補充したい。
- ・ 来年秋頃まで雇用を増やす。
- ・ 日本人を優先的に採用したいが募集しても応募が少ない。
- ・ 日本人は高齢化で雇用が難しい。
- ・ 外国人は技術がない分、日本人より賃金を抑えている。
- ・ 人手が足りているわけではなく定年退職や実習生の流出を補完している。増減の波を作りたくない。
- ・ 現在が上限、それを維持したい。
- ・ 今は2カ国だが、1カ国に減らしたい。（いずれは日本人だけの採用にしたい）
- ・ 今年雇用を増やした。コロナの時は忙しかったが今年に入ってから景気が悪い。原因は不明。

問4 外国人労働者の日本語レベルについて		
区分	件数	割合
業務に支障なし	6	30.0%
業務に支障あり	3	15.0%
支障がない者、支障がある者、両方いる	10	50.0%
不明・無回答	1	5.0%
回答者数	20	100.0%



（問4 コメント）

- ・ 社内で実習生のコミュニティが形成され、日本語を話す必要が減り日本語レベルが落ちている。
- ・ 国別で一長一短。技能は安定しているが日本語は苦手、技能は低い日本語の覚えは早いなど。
- ・ 始めのうちは支障がある者もいるが半年から1年で問題なくなる。
- ・ 意味がしっかり伝わってなくてもとりあえず「ハイ」と答える。
- ・ 週1~2回、監理団体の通訳により日本語教室を3時間やってもらっている。
- ・ N2レベルの実習生がおり、他の実習生の日本語指導や病院同行などフォローしている。
- ・ 日本語試験を受験している子もいる。

問5 外国人労働者に関する課題について（複数回答）		
区分	件数	割合
言葉の違いによるコミュニケーションが不足している	11	55.0%
採用に係る負担が多い（手続、期間、費用など）	10	50.0%
文化・習慣の違いによる相互理解ができていない	9	45.0%
住居等の受入環境の整備ができていない	8	40.0%
中途退職・転職など労働力の流出	8	40.0%
日本語教育が不十分である	6	30.0%
行政・専門機関等と連携した相談体制ができていない	1	5.0%
その他	4	20.0%
回答者数	20	

（問5コメント）

■コミュニケーションに関するコメント

- ・技能実習生たちは仕事が終わるとすぐ宿舎に戻るため、他の社員と会社で接する機会が少ない。
- ・母国語で仲間同士だけで話している。
- ・母国語で実習生同士が会話するので、日本語が向上しない。
- ・40代以上の人が多く、言葉をあまり覚えられない。ジェスチャーで対応することもある。
- ・コミュニケーション不足は実習生より日本人側が感じている。
- ・毎月、会社でご飯を食べに連れて行っている。
- ・春は花見、夏はねぶた、焼き肉、冬は雲谷スキーに連れて行くなどコミュニケーションに努めている。
- ・会社が奥入瀬渓流、サクランボ狩りに連れて行ったり、着物着付体験などの交流を行っている。
- ・会社として、6月にさくらんぼの収穫体験に連れて行くなどしている。
- ・毎年、寮の周辺住民に会社として挨拶に行っている。
- ・町内ねぶたに参加した。
- ・休みの日に観光に連れて行ったりもする。地元の人との交流はあまりない。
- ・会社の交流イベントでサクランボ狩り、花見など日本文化の体験を行っている。

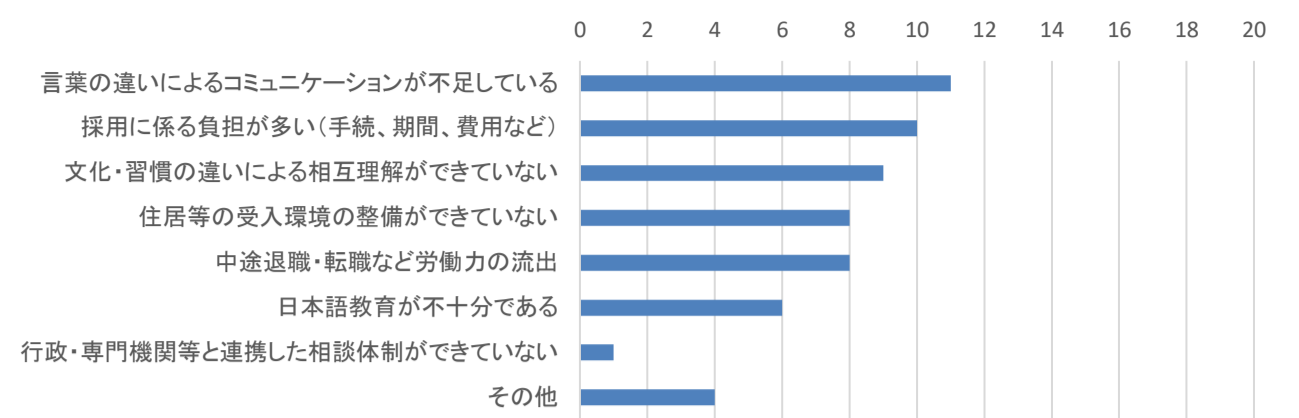
■文化・習慣の違いに関するコメント

- ・文化、習慣の違いは必ずある。日本人だけでなく外国人同士でもある。
- ・平気で遅刻、欠勤する。手を洗うなど基本的な所が日本人より意識が低い。
- ・人が見えていないとサボる。「頭が痛い」等ですぐ休む。
- ・元々声が大きく家のパーティー等で騒ぐ。アパート共有部分の戸を開めない（虫が入る）。
- ・油や髪の毛で排水溝を詰まらせる、他人のベランダを行き来する等の苦情がある。
- ・線路、私有地を歩いたり、畑のものを勝手に取ってくる。海岸で海産物を採取する。
- ・土足で家の中に入ったたり、裸足で外出する。
- ・宿舎や洗面所等の使い方。風呂上がり体に拭かないで出るため床がビショビショ。
- ・電気釜のスイッチを入れっぱなし（不味くなるのに気にしない）。
- ・部屋が汚い、異臭がする、アパートの周りに勝手に畑を作る、ごみを燃やす等の苦情等がある。
- ・ごみの分別は中々直らない。
- ・食べ物、掃除の仕方、ゴミ出しの苦情など。
- ・騒音とゴミ、分別の仕方が分からない。
- ・技能実習生たちの素行が悪い。地域住民にひんしゅくをかけており、しよっちゅう謝りに行っている。
- ・ゴミ捨て（曜日、分別）で町会から苦情が来たことがある。バスや寮の窓からゴミを捨てることを悪いと感じない。

■日本語教育に関するコメント

- ・監理団体の日本語教室を行っても20人中4人しか参加しない。本人の意識が低い。
- ・日本語教室を開催しても、参加しないだろう（覚えたいと思っていない）。
- ・個人差はあるが、やる気のある人は自分でネット等で勉強している。

問5 外国人労働者に関する課題について



■採用に係る負担に関するコメント

- ・監理団体等の費用がかさむ。
- ・人件費は日本人より高い。
- ・研修代や保険代が負担になっている。
- ・実習生の来日旅費は全額会社負担。
- ・本人の負担軽減のため会社が安いアパートを探したり、生活に必要な電化製品を提供している。
- ・採用の入管庁への申請に時間がかかる。
- ・面接から採用まで半年の期間が係るため手続が短くなってほしい。
- ・技能実習生の非課税証明書

■住居に関するコメント

- ・一軒家を3置に区切って会社が住まわせている。不動産業者や大家からは外国人だと断られることが多い。
- ・アパートは外国人というイメージだけで大家が断る。
- ・アパートは外国人だと大家に断られる。空き家は持ち主が分からず相談できないケースが多い。
- ・社長の家の隣に寮があり、共同生活をしている。
- ・大学の学生が会社の寮に来て、言葉や生活をフォローし、会社に報告してもらっている。

■中途退職・転職に関するコメント

- ・特定技能は転職可。昨年、特定技能10人中、7人が転職した。
- ・特定技能は採用に手間がかかっている分、採用してすぐに転職されると困る。
- ・本県は賃金が安いので、関東、関西の都市圏に流出している。
- ・毎年1名程度が着任1年以内に都市部へ失踪しており、累計4名いなくなった。
- ・都市部の賃金が高いのは相応の理由があるのにそれを理解していない（深夜労働、物価高等）
- ・1年間で4人失踪した。入管庁の監査、費用の損失などとばつちりを受けた。
- ・他の会社に転職したが、都会は生活費が高いという理由等でやっぱり戻ってきたいという例もある。
- ・途中帰国、失踪がたまにある。
- ・技能実習制度の変更により、体制の変更等による流出の懸念がある。
- ・技能実習制度が改正されるがどうなるのか。
- ・新制度になり、転職が自由になる。最低賃金を上げてほしい（流出のブレーキ）。寒い所は不人気。
- ・転職を食い止めたい。国の制度改革を憂慮している。

■その他のコメント

- ・地域の人が安い賃金で働いていると見下したり、時給300円程度で草むしり等を依頼してくる人もいる。

問6 多文化共生の実現に向けてどんな取組が必要だと思いますか。（複数回答）		
区分	件数	割合
外国人住民に対して地域での生活上のルールや習慣等を周知する	11	55.0%
外国人住民に対する日本語教育を充実する（日本語教室の開催など）	11	55.0%
日本人住民と外国人住民の交流の場をつくる（祭り、交流イベントなど）	11	55.0%
外国人に対して生活に必要な情報を提供する（住居、教育、医療、災害など）	8	40.0%
日本人住民に対して異文化理解や意識啓発を促進する	8	40.0%
外国人住民に対する相談体制を充実する（相談窓口の設置など）	4	20.0%
外国人住民の自治会・町内会等への参加を促進する	4	20.0%
日本人住民のコミュニケーション能力を強化する	4	20.0%
外国人・日本人住民の相互のコミュニケーションを円滑にするツールの普及	4	20.0%
その他	1	5.0%
回答者数	20	

（問6コメント）

■生活ルール・習慣等に関するコメント

- ・市内ゴミ出しルールを多言語で周知してほしい。町内会からの苦情が会社に来ている。
- ・生活のルール等は先輩の実習生が教えてくれる。
- ・生活に必要な情報は会社で提供している。買い物や送迎も行っている。
- ・必要な情報はスマホで調べられる。

■日本語教育に関するコメント

- ・標準語と方言の日本語教育をしてほしい。方言を正しい日本語だと思っている実習生もいる。
- ・日本語検定を目標とした日本語教育もやってほしい。合格すれば報奨金や時給アップがある。
- ・会社独自で日本語教室は実施していない。青森県観光国際交流機構の教室で頑張っている実習生もいる。
- ・市の日本語教室は遠くに行けない。1日潰れる。金がかかるのは実習生は行かない。無料で開催してほしい。
- ・実習生本人達は勉強したいかもしれないが、お金がかかるためできていない。

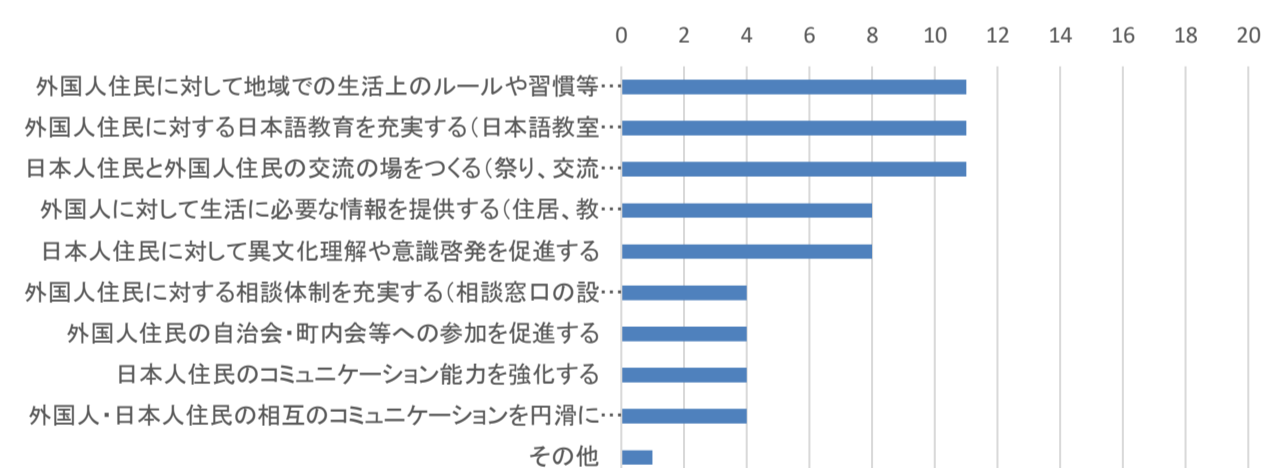
■交流の場に関するコメント

- ・市の交流イベントに呼んでもらい実習生は喜んでいて。もっとやって欲しい。踊りなど視覚で分かるものがある。
- ・実習生本人達はイベント等に参加したいかもしれない。
- ・今年、町会ねぶたに参加した。実習生たちは声を出してすごく喜んでいて。
- ・コロナで3年間閉鎖的だったが、交流イベントで実習生や近所の人が集まって交流できるといい。
- ・国地域別の外国人の交流の場が欲しい。
- ・市内の飲食店の協力で料理を扱ったイベント交流があるといい。

問7 その他の意見・要望等
（自由回答）

- ・トラック輸送の2024年問題を危惧している。
- ・2024年問題が心配。以前は買い物等で外注のバスを出していた。自社のバスも運転手がいなかった。
- ・CSR監査で実習生の借金（渡航費）を当社が払うよう指導があった。制度を知らず大きな負担となった。
- ・実習生の住居が津波の震災区域に入っており、災害発生時の対応について社内で議論になったことがある。
- ・犯罪に巻き込まれたり、騙されたりするのを避けるため、実習生には外部と交流しないようお願いしている。

問6 多文化共生の実現に向けてどんな取組が必要だと思いますか。



■異文化理解・意識啓発に関するコメント

- ・ヒジャブを巻いていると指をさされることがある。

■相談体制に関するコメント

- ・生活、夜の病院などの相談窓口がほしい。
- ・行政に相談するよりは、監理団体に相談する。
- ・以前、病院に同行したとき医師から通訳を連れてきて欲しいと言われたことがある。
- ・通院する時に通訳同行があるといい。（歯科、皮膚科、婦人科、ワクチン接種等）
- ・年金、社会保険の説明は監理団体の通訳（電話）に頼んでいる。

■コミュニケーションツールに関するコメント

- ・インターネットの翻訳を使う時があるが精度がよくない。

■その他のコメント

- ・長く実習生を受け入れているため、地域の理解はある。
- ・住みやすい環境づくりのためには自治体等のサポートが必要。
- ・実習生が県内観光地に行って、外国語でSNSで拡散するような取組があるといい。
- ・実際には厳しいと思うが、地域でホームステイできる所があればいい。